

(仮称) 周南市公共施設再配置計画 (案)

パブリック・コメント等 実施結果

皆様からいただきましたご意見の内容とそれに対する市の考え方を公表します。

【パブリック・コメント等 実施状況】

1. パブリック・コメント

(1) 意見の提出期間

平成24年11月15日(木)から平成24年12月21日(金)まで

(2) 意見の提出件数

180件

(3) 意見の提出方法

提出方法	持参	郵送	ファクシミリ	電子メール
件数	116件	11件	36件	17件

2. 周南市行政改革審議会

(1) 開催概要

①開催日時：平成24年12月17日(月) 18時～20時

②場所：周南市役所本庁2階 第2応接室

③出席者：行政改革審議会委員10名、事務局(行政改革推進室)5名

(2) 意見の提出件数

7件

3. 検討結果

パブリック・コメントでいただいた多くのご意見や市議会での要望決議の内容等を検討した結果、お示ししておりました現在の計画案を取り下げ、再考することとなりましたので、パブリック・コメント180件及び周南市行政改革審議会委員からの7件のご意見に対する「市の考え方」は、別紙1のとおり、同一のものとさせていただきます。

別紙1 市の考え方

別紙2 パブリック・コメントで市に寄せられた意見

別紙3 周南市行政改革審議会でも市に寄せられた意見

【市の考え方】

平成24年11月15日から12月21日の間に行いました「(仮称)周南市公共施設再配置計画(案)」に対するパブリック・コメントにつきましては、別紙のとおり180件にも及ぶご意見をいただきありがとうございました。

このパブリック・コメントにおいては、市民の皆さまから、計画の分かりやすい説明の必要性や、地域性への配慮等、多くの貴重なご意見をいただいたところです。

本市といたしましては、パブリック・コメントでいただいた多くのご意見や市議会での要望決議の内容等を検討した結果、お示ししておりました現在の計画案を取り下げ、再考することとし、地域性への配慮や組織体制を含めた施設、機能のあり方、市の総合計画等との整合性、公共施設の現状と課題等の市民の皆さまへの分かりやすい説明など、今回いただいたご意見を参考とさせていただきながら、再構築することといたしました。

新たな計画案がまとまり次第、市民の皆さまにお示しするとともに、改めて再考後の計画案に対するパブリック・コメントを行いますのでご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

No.	計画(案)該当箇所		市へ寄せられた意見の内容
1	P22	V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等	コスト削減、適正配置等の基本方針が示されていますが、全ての公共施設を同じ考えでの判断で実施されるのは、不適切であると思います。住民サービスは市内全域で公平に受けられる状況になければならないはずで、もともと公共施設は地域の要望や特性、事情により配置されていたものであり、必要性があったものです。 総量抑制やコスト削減、老朽化等理由で建物本体を統合縮小することは、やむを得ないことかもしれませんが、その業務や機能まで縮小する考えは問題があると思います。 例えば、各地の総合支所→支所にするという案は間違いなく地区住民へのサービス低下につながることになるので納得できません。
2	P22	V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等	子育て世代・高齢者の立場で考えると、支所がどんどん機能低下していく恐れがあるのはとても不安を感じます。計画(案)の内容については地域住民の意見が反映されていない部分が数多く見受けられます。いくら審議会等で話し合われたとしても、地域住民の意見が反映されていないものであるならまったく意味のないことではないでしょうか。計画案は見直しもしくは廃止していただきたいと思っています。
3	P22	V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等	周南市公共施設再配置計画(案)について申し上げます。当計画(案)はあくまで、施設としてのハード面について記載されているようですが、あえて深く読み取ろうとするならば、総合支所としての機能をいずれ支所に格下げするという本音の部分が見え隠れしているように感じました。 総合支所地域に住む住民の立場から申し上げますと、行政機能についての将来的なビジョンを計画に盛り込んでいただきたい。その内容としては、当初対等合併した地域については、将来的にも総合支所として残しておくという文言をぜひ取り入れていただきたいと思います。よろしくお願いします。
4	P22 P35	・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	住民に詳しい説明もなく、役所の縮小など、とうてい納得いかない計画案には賛成できない。
5	P22 P35	・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	この度の再配置計画案については、時代の変革等を考えれば理解できない事はありませんが、鹿野総合支所の縮小や支所への降格には絶対に反対であり、存続を強く要望いたします。
6	P22 P35	・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	もしも総合支所を廃止して、2～3人の支所にするのであれば5～6ヶ所の支所を設置しなければ不便だし、徳山地区との不公平になる。
7	P22 P35	・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	公共施設の再配置について、鹿野地区の総合支所を施設老朽化を理由に統廃合を提案しておられますが、人口の減少を理由に総合支所を出張所に格下げされる提案にほかなりません。口では格下げが目標ではないと言われますが、過疎地の切り捨てではありませんか。利用率の面で考えれば、人口の少ない地区は低いにまっています。地理的な面を考えて下さい。
8	P22 P35	・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	総合支所を支所にするのはどんなものでしょうか。高齢化して動けなくなったらどうしたら良いのでしょうか。より充実して下さることをお願い致します。生活が不便になります。住民の意見を聞いてからにしてください。
9	P22 P35	・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	総合支所を支所にする住民の生活がこまります。
10	P22 P35	・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	総合支所が支所になるのは反対です。私たち鹿野の住民にとって合併に賛成したのは今までの行政サービスが今まで通り担保されるということで合併に応じたのです。それが、いきなり総合支所の耐震性が危険だから廃止ということは楽観的すぎではないでしょうか。補強にコストがかかるのは理解できますが無駄な公共事業を見直せばコンパクトな総合支所を建設できる予算はいくらでも捻出できるはずです。
11	P22 P35	・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	総合支所が支所になると、地域にとって1番大切な道路、橋、河川の維持管理、水道などの業務がなくなるのとこと。これが私の住んでいる地域では、1番身近に必要なことです。どうか、今までのような総合支所をお願いします。

No.	計画(案)該当箇所	市へ寄せられた意見の内容
12	P22 P35 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	私は、鹿野町出身者にて、鹿野地区にも住居があり、将来的には鹿野地区の活性化にも少しでもお力になればと考えております。 鹿野総合支所について、計画(案)によりますと、建物は「廃止」、機能は「存続」となっていますが、「総合支所は、支所機能を残す形で段階的に縮小し、支所として存続もしくは他施設との統合を図る」とあります。建物の老朽化とコスト等の合理性から機能を集約されることは尤もなことと思います。ただ、鹿野総合支所は「周南合併」を円滑に進め、合併後の各地域の特色ある発展と一体的な整備を象徴する行政機能であったと認識しています。 現在、鹿野地区では民間の個人や団体での様々な地域活性化への取組みが見られていますが、総合支所の地域活動に対する寄与は大きなものと聞いております。総合支所の効果は支所への来訪者数の多寡や行政サービスの提供だけで図られるものではないと思います。計画案にいうところの「支所機能を残す」ことが、現状の総合支所の地域活動への貢献の存続に繋がるようご配慮いただきますよう、お願い致します。
13	P22 P35 ・V. 利用形態別方針1. 事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	鹿野総合支所検証結果において、事務事業評価は転用、建物においては廃止という計画案が示され総合評価では新庁舎に機能集約し、地域性の高い行政機能をコアプラザかのへ統合との説明がなされております。 中山間地域の核が消滅することにつきましては、高齢化に直面する現状を考える時、大きな危機感を抱くのは多くの地域住民の偽ざる心境だと思います。 公共施設廃止によって、ソフト面に於ける医療、福祉、保健等社会保障の分野やサービスの維持、低下が懸念される中では地域の将来的な展望の不透明さが増すばかりと考えます。 このような生活環境の変化が過疎化への拍車をかけ、地域の衰退につながる可能性は大きなものがあります。個別計画策定にあたっては市民の意見を伺うとありますが、すでにガイドラインは料理されているものと思われします。 現在の鹿野総合支所の業務をコアプラザへ全て統合されるのか、仕分けにより新庁舎へ集約される業務があるとすればどこの部所が対象になっているのか、合わせて職員の異動人員など具体的な計画案を提示していただければ、住民の不安を解消し、まちづくり提言もより中身の濃い内容になるものと思いますので宜しくお願いします。 木村市長は歴史に精通されていると伺っております。外堀を埋められた大阪城はあっけなく炎上落城し、豊臣は滅亡しました。中山間地域の外堀は支所、学校、公民館などの公共施設が主体であります。そうした核である施設の廃止は、地域社会の崩壊を加速化する要因の一つと思われ、現状存続を強く希望するものであります。 地域住民が安心して暮らせる地域形成のためにも慎重かつ希望ある対応をお願いします。
14	P22 P35 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	総合支所が縮小されるとイベント等が手薄になりはしないか。 現在、産業土木課に、常にお世話になっておりますが、どうなってしまうのか不安です。
15	P22 P35 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	再配置計画(案)にある総合支所の施設廃止には反対です。なぜなら、機能的にも総合支所から支所に改編される恐れがあるからです。もっと住民の正しい意見を反映したうえで計画の立案をしてほしいと思います。本庁に機能集約しすぎると地域の声はさらに市政へは反映されなくなると思います。
16	P22 P35 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	再配置計画(案)について申し上げます。広大な面積を持つ周南市の中でも、旧鹿野町地域は約181km²の広さを持ち、周南コンビナートの水源の地として、重要な地域であると思っております。周南市公共施設再配置計画(案)がこのような住民不在の形で発表されたのはまさに寝耳に水であり、過疎化の進む中、地域住民がよりどころとしている鹿野総合支所を廃止ということになれば、地域の閉塞感に拍車がかかることを危惧するのは自然なことであります。また、機能的に総合支所として存続できるのかどうかという問題についても、計画(案)がなし崩し的に進められている以上、総合支所から支所に組織改編される議論がどんどん進んでいくのではと疑心暗鬼になっています。このことから計画案の見直し、撤回を強く求め、市民の真の意見を反映させた計画(案)をお示しいただくようお願い申し上げます。
17	P22 P35 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	総合支所廃止について、いかに財政難時代とはいえ鹿野市民に取って重大な問題を簡単に机上で決められては困ります。鹿野は広範な地域に自助共助で3,700人が頑張っているのです。自然災害(台風、洪水、降雪etc)などの時、支所態勢で対応出来るとはとても思えません。 この計画は市民憲章の精神にも反するもので、鹿野は益々疲弊の一途をたどることになります。周辺地域だからそれで良いのですか？現総合支所には銀行もあります。市長様、改革推進室の皆様一度ご来鹿の上、事情をよく把握の上、再配置計画を再考され、鹿野総合支所を是非残していただきますよう切望いたします。

No.	計画(案)該当箇所	市へ寄せられた意見の内容
18	P22 P35 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	安心安全に暮らせる町を守る立場にあり、大雪、台風、災害時、緊急連絡の対応が総合支所なくして出来るのか心配です。
19	P22 P35 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	除雪について 鹿野地区では冬季には積雪が多く、支所に降格にした場合、職員数も少なくなり、除雪が出来なくなり地区によっては幹線道路にでられなくなる場合もあり、特に一人暮らしのお年寄り、小学生が。
20	P22 P35 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	計画案に対して協議を重ね、鹿野総合支所から支所に反対をします。鹿野総合支所機能は残していただきたい。耐震の問題がある場合、他の施設に移行しても、総合支所として機能を残していただきたい。 その理由 台風、ゲリラ豪雨、豪雪の時、一人暮らし、高齢世帯、災害弱者に対して安否確認と、避難等の支援を行っている。 周南市の面積の3分の1を占める鹿野では、災害、緊急時の対応を行うためにも総合支所としての権限と機能は残して、災害時安心安全の組織づくりをお願いします。 特に除雪は、安全確保のため、民生委員や雪かき防災ボランティアがスコップを持って安否確認方々に訪問しますが、市道の除雪は、今まで通りの対応をお願いしたい。 今回、周南市公共施設再配置計画案を突然つきつけられ、周南市長に対して中山間地区、周辺部の切り捨てを実感しました。 周南市を人間の体に例えると、手や足は周辺部に当たり、周辺部を切り捨て、過疎化に拍車がかかると、中心部の駅前、商店街の内臓が病んで機能しなくなるでしょう。
21	P22 P35 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	私は鹿野総合支所の再配置計画(案)について申し上げます。 鹿野地域における総合支所の位置付けは非常に重要であり、施設の的にも機能的にも地域の核となるものがあります。特に合併後において、過疎地域の行政サービスを行う場合、広大な面積を持ち、気象条件の厳しい(冬季の積雪等)鹿野地域をカバーするということは、現在の総合支所であっても十分とは言えません。 再配置計画(案)では、総合支所を施設として廃止されるという計画が記載されております。機能としては存続という記載もありますが、先日の市議会一般質問での木村市長のご答弁をお聞きすると、近いうちに総合支所は支所に変えることになるということを危惧せざるを得ません。地域住民とコンセンサスのとれていないこのような施策を強引に遂行させることは、民主主義の崩壊であり、決して見過ごすことはできません。どうか市当局におかれましては、計画(案)を再度住民の立場からご考察いただき、支所機能の強化という方向性でご尽力賜りたく切にお願い申し上げます。
22	P22 P35 P38 V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所) 別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野庭球場)	1、鹿野総合支所について ①新庁舎に機能集約とありましたが、除雪車は鹿野に置いて下さい。積雪があれば、除雪は一刻も早い対応が必要です。天候状況により、除雪車が鹿野まで到達できない事態が起きた場合、地区は孤立します。雪は降り出してわずかな時間に30センチを超えることもあります。雪の積もらない地区の方には想像できないと思いますが、生命に直結する問題ですので、慎重にご判断ください。 ②以前、大雨が降った時のことですが、側溝の水が溢れて家が床下浸水したことがありました。写真を撮って総合支所に報告、側溝の設計に問題があったので、すぐに工事をしていただきました。おかげでそれ以来、床下浸水はありません。そういった機能が新庁舎に集約された場合、同様のサービスを同じようなタイミングで受けられるのでしょうか？ ③健康増進課はどうなるのでしょうか？地域密着型でないと、適切なサービスの提供は難しいと思います。保健師さんの常駐は必要です。 2、山村広場のテニスコートですが、メンテナンスはしないが、使える限り使用はできると聞きましたが、本当でしょうか？ 徳山高校鹿野分校のテニス部が、試合の前の最終調整のため、地面が土でないコートを使用されます。使用できない状況にならないよう、お願いします。

No.	計画(案)該当箇所	市へ寄せられた意見の内容
23	P22 P35 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	周南市公共施設再配置計画案にある鹿野総合支所を支所へ更にコアへ移行に反対をします。鹿野総合支所機能は残していただきたい。 その理由 移動手段の不便さから交通弱者であり、障害のある身では、買い物の荷物を持つのに苦勞し、買い物難民です。 しかし、住み慣れた地域で安心して暮らしたいと切に願っています。 地域の役にも立ちたいと考えています。 総合支所であるから選挙の期日前投票もできます。今後はどうなりますか。 障害者の手続きや、タクシー券等の発行は今後どうなりますか。 生活保護者への支給は今後どうなりますか。 本庁へその都度出かけて行くことは、困難です。 コアへ総合支所の機能が移行する時は、山銀もコアまたは、コア近くへ一緒に移る支援していただけますか。 山銀が撤退、鹿野の商店が閉店に追い込まれるようなことがあれば益々不便を感じます。 周南市は要援護者(障害者)の孤立支援対策を考える時、街中に住む障害者だけを考えると困ります。周辺部へもたくさん障害を持った住民が暮らしています。 鹿野総合支所機能と決定権を残す対策、支援をお願いします。
24	P22 P35 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	総合支所が廃庁になり支所に格下げとなれば住民サービスが低下し、高齢者が多い鹿野地区住民にとっては痛手である。したがって、総合支所は存続させるべきで総合支所廃止は絶対反対である。又、商工業者にとって総合支所内にある金融機関(民間)が廃庁となれば移転するめどがたたず撤退する可能性があり金融業務に多大なる損失が生じるのは必ず表れる。以上を考えれば総合支所は必要不可欠である。
25	P22 P35 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	総合支所の廃止は断固として反対です。支所になれば人員も減るでしょうから、地区住民に対するサービスは低下するのは目に見えています。それに総合支所に位置している金融機関も行き場を失い撤退するということにもなりかねません。商売をしている者にとっては死活問題になります。したがって、総合支所がなくなるとことは絶対許されるものではありません。
26	P22 P35 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	合併前だと鹿野町役場に行けば全ての事務が出来ていたのに、支所となれば本庁まで行かなければならなくなるとし、特に鹿野の周辺に住んでいる者にとっては、車代も多くかかります。老人にとっては死活問題です。 金融に関しても山口銀行が入っているけれど、これもなくなると本当に不便になります。 財政もひっ迫しているのは良くわかりますが、田舎の暮らしを老人ばかりの地域の暮らしを守る計画を少しは考えて下さい。 総合支所の存続をお願い致します。
27	P22 P35 P37 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所、鹿野公民館、コアプラザかの)	「シセツ・カルテ」、「周南市公共施設見直し指針」、「行政評価」の結果から今回の「周南市公共施設再配置計画案」ができることは、財源が無い時代に避けて通れないことと思います。 しかし、「コアプラザかの」(以下、コア)は、平成21年2月に「保健・福祉・医療の拠点施設」としてオープンして以来、子育て世代から高齢者、障害者等、多くの住民が集う施設として運営されています。 鹿野総合支所機能をコアへ統合、更に縮小して支所へ移行することは次の課題が考えられますので、それに対しての対策をお聞きしたいと思います。 ○支所へ移行し、保健師がいなくなるのでは、保健福祉医療の拠点施設としてのコア本来の機能が果たせないのではないのでしょうか。(サロンの出前講座、育児相談、健康相談、ケース会議等) ○冬寒気が厳しく、積雪が多い地区なので施設課職員は、市道の除雪を早朝より苦勞しながら行っています。今でさえ限られた職員で除雪対策を行っています。支所になった場合、市道の除雪はどのように対応するお考えでしょうか。 ○道が開くまで住民は仕事へも行けず、学校へも行けず、通院もできず孤立してしまうのでしょうか。冬場の安心安全対策が十分でないと、若者を中心とした人口流出に拍車がかかる不安があります。 ○市民交流施設の鹿野公民館は、コアへ機能移転して廃止の計画が示されていましたが、公民館ホールは300席あり、映画の上映会、老人クラブ総会や文化講演会の会場としてちょうど良い規模です。夏には劇団わの講演があり、感動を共有できる娯楽の一つです。この施設は耐震補修をして是非残していただきたいと思っています。 もし、この施設の代替として、コアの大会議室をお考えなら、120人が入るのが精いっぱいスペースです。 次に続く

No.	計画(案)該当箇所	市へ寄せられた意見の内容
	P22 P35 P37 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所、コアプラザかの)	上段に続く ○コアへ総合支所機能を移行した場合、市は事務配置をどのようにお考えでしょうか。 コアの市民交流スペース(玄関ロビー)は、かのふるさとまつり、文化発表の開催や地区社協のふれあい餅つき大会、鹿野地区盆踊り、ふれあい食事サービスの受け渡し場所等々市民が交流できるスペースとして、目的に沿って有効活用されています。もし、ロビーにカウンターを設置して事務所機能を設ける等お考えでしたら、難しいように思います。 ○平成20年4月山口銀行が駐車場のある鹿野総合支所に移転して、自治会の世話をする方は、行ったついでに用事を済ますことができ便利とされています。しかし、総合支所が移ったのでは、今後、山銀が撤退しかねない心配がでてきます。 山銀が撤退するようなことがあれば、鹿野の商工はさびれるばかりで、周南市は鹿野を見放した。中山間のサービスの低下と言わざるを得ないでしょう。 ○新聞に掲載された記事は決定のように受けとれ、総合支所が支所へ、更に、コアへ移行するような重大なことは、時間をかけて、商工会や地区の代表とも協議を重ねて、納得の上で進めてくださいますようお願いいたします。
28	P22 P35 P37 P39 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所、コアプラザかの、鹿野プール)	1、総合支所→支所に移行した場合業務?(山間部の為)(新聞発表で知りました。現在でも不便なこと多数有) 1、総合支所→コアに 山口銀行?(商取引、諸々の件、JA、局、銀行の違い) 1、市営プールの廃止 経費の面を見れば税金の無駄遣いですが、学校プールができたときの部外者の使用? 1、コアプラザかには公民館ホールのような収容人員のできる場所はありません?(熊毛には有)
29	P22 P35 P37 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所、鹿野公民館)	①総合支所を「支所」としコアプラザに移すこと 人口減少が規模縮小につながった計画と思うが、地域の特性を無視し、住民の利便性、安心安全をおびやかす計画には反対です。又、コアには受け入れるスペースがなく、コア本来の機能にも影響が出ると思われる。併せて、金融機関の動きが懸念される。商業活動に大きな支障が生じ、過疎化は益々助長されることに繋がる。 ②公民館の廃止について 廃止、解体の後は、H18年11月13日付「コアプラザ整備にあたっての要望書」の後段に述べてある「ホール」の建設を強く要望する。市長はコアへの併設は困難であることを認めた上で、今後の検討をすると回答している。
30	P22 P35 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	鹿野総合支所を廃止することには絶対反対です。コアプラザかのに機能が移ってもしかたがないと思いますが、職員の縮小や総合支所長がいなくなるような改革は活発な地域活動が崩壊してしまい地域の意見実情が周南市に届かなくなります。
31	P22 P35 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	総合支所長がいらない総合支所廃止には絶対反対。住民サービス、ワンストップサービスが低下したら、誰が責任をとるのか? 鹿野地区住民を犠牲にしての財政改革はありえない暴挙だ。
32	P22 P35 P37 P39 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所、鹿野公民館、鹿野プール)	総合支所を支所に配置換えをすることは、やむを得ないことかもしれませんが、現在行っている対応(例えば、冬に積雪を除雪する対応がすぐできるとか、手続きをスピーディに行って頂けるとか)して頂ければ問題はないと思うのですが、対応に時間がかかるとか、本庁に行かないと手続きが難しいようであれば、交通機関も充実していないので、支所にすることは反対です。 プールを新しく建設する話がありますが、小学校の体育館のように短期間での手抜き工事であれば、同じようなことが起きるので建設する時に注意が必要だと思います。プールの利用者が少ないとのことですが、本当に必要なのでしょうか。学校の授業も本当にほんの少しだと思うのですが、管理することが大変なのではないでしょうか。温水プールであれば冬も使用できますが、作る必要があるかよく検討して頂きたいと思います。 それよりは、公民館を存続させて頂くことはできないのでしょうか。300人位入れる場所は公民館しかないと思います。体育館を利用するには、準備(シートや椅子を出したり入れたりする手間)が大変で、ほとんどボランティアでなければいけないので、無理だと思うのです。又、冬は利用しようと思えば、ストーブから運ばなければならない、広すぎて暖まらないと思うのです。 この3点について検討をよろしく願います。
33	P22 P35 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	高齢化と人口減少時代、不景気が吹き荒れている。 人間の生活で困って来た時、懐の深い地域は農村であり、中山間地域を疲弊させてはならない。行政効率の点だけで考える事は危険。鹿野では山林や林業の振興が必要で、能力のある職員を多数配置して行政主導の林業行政を展開し、地域住民の森林撫育の意欲を削がないで欲しい。 中山間に関する課なり、部を鹿野に配置し、中山間地域の発展の核となるようすべきであり、効を奏すると考える。今がチャンスと思うので願います。

No.	計画(案)該当箇所	市へ寄せられた意見の内容
34	P22 P35 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	財政が今後益々厳しくなっていく事は必然で、公共施設等の見直しを進められることも数字上の論点からは理解できるところでございますが、全て、費用対効果の物差しで判断をされてしまいますと、周辺部での生活はできなくなって行きます。特に現在庁舎に併設されている金融機関の存続を絶たれる状況が生じれば地元商工業者にとりましては致命的となります。 行政機能をコアプラザかのへ統合されるのであれば、向道地区までを見据えた周辺部行政を考えていただき、金融機関とも協議していただいて、コアプラザかのに同時移設していただけないものではないでしょうか。 鹿野の地で小規模ながら懸命に生活をし、又、これからもして行こうと頑張っている人もたくさんいることを改めてご理解賜りますようお願いいたします。
35	P22 P35 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	・現在、鹿野総合支所に山口銀行が併設されており、利便性も含め、あらゆる面で総合支所機能の存続を切望します。山口銀行の支店機能は地元住民や企業、経済の為になくてはならない金融機関です。 ・防災無線機能の存続は中山間地区に住む者にとって非常に重要です。生活の安心・安全の為に総合支所機能の存続は重要だと思います。 ・周南市と地域住民で中山間地区の活性化と発展に取り組んでいる最中、この計画は逆行していると思わざるを得ません。隅々にまで配慮の行き渡る行政を切に願います。
36	P22 P35 P37 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所、鹿野公民館)	鹿野のホールのことがない。ふれあいセンターがある新南陽地域に学び交流プラザをつくるのなら鹿野にもホールを作ってほしい。また、本庁舎を建替えるのなら総合支所のサービスを低下させることなくきちんとした建物、機能にしてほしい。
37	P22 P35 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	鹿野総合支所の建物自体解体してほかの施設に併合してもOKである。現在の機能はできるだけ維持してほしい。職員数は有能な人材を確保すればできる。民間にできるものは極力民間に任す。 鹿野地区のような中山間地域においては、高齢化で地域のリーダーとなる人材がいなくなるので、地区の産業生活基盤の維持を図る有能な人材を配置。たとえば、地域振興普及員なる専従職員を配置するシステムの支所にしてみたい。
38	P22 P35 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	高齢者だけの世帯が多い鹿野のような地域であるがゆえに災害、降雪等への対応、住民票等の手続への対応を考えると、体制を縮小しても現在ある「コアプラザ」の建物を利用して支所を存続させるべきだと。
39	P22 P35 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	年々年を取るもので近くで用事が済ませる様 知人がいる役所でなんでも聞ける様
40	P22 P35 ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	行財政改革の主旨は理解できるが、極端な機構改革は返って住民サービスの低下を招き不便なことが数多く生じるのではないかと。 それぞれの地域の実情に沿った改革をして欲しい。鹿野は特に住民が分散して住んでおり、又高齢化も進んでいるので色々な支所での手続きが不便にならないよう又防災上危険なことに対する対応が遅れることのないよう配慮して欲しい。 とにかく住民によく説明をしてメリット・デメリットをよく調査して住民が不便さ・不自由さをしなくて、住民サービスが受けられるよう、よくつきつめて検討して欲しい。

No.	計画(案)該当箇所	市へ寄せられた意見の内容
41	P22 P35 P37 ・その他全般に関すること ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所、鹿野公民館、コアプラザかの)	(案)の詳細は理解しておりませんので、食い違いがあるかもしれませんがご了承下さい。 1 再配置の必要性はあり、当然進めるべきと考えますが、既存施設が老朽化していることだけでなく、地域にとってその施設がどのような役割を果たしているかも考慮する必要があるのでは？ 2 合併による効率的な行政運営は、当然ですが、地域の広さなどそれぞれの旧行政区での事情が異なります。例えば旧徳山ではきめ細かな支所配置がされ、施設が整備されていますが、旧鹿野町の場合、広範な地域でありながら、事務機能は一ヶ所で行っており、農林業、市道維持管理、豪雨や台風、積雪等の災害対応を考慮すると最小限の総合支所は絶対必要であり、廃止は論外です。総合支所の廃止は、40年来の各支所の配置はどうするか？が先に議論されたのち、全体的計画を示して実施し、その後総合支所のあり方を議論されたい。 3 広範な地域の住民への、行政連絡、防災情報の住民周知は、戸別の防災行政無線は有効と思っていますが、今後どのような方向性なのか不明です。(拡声放送は不能) 4 コアプラザかのは、県施設の廃止に伴い浮上し、保健、福祉、医療の一体的整備と生涯学習機能を加えたものとして整備されたと理解していましたので、支所の機能移転はスペース(防災無線機能の中核設備等)の問題も含め、出来ないと考えます。鹿野公民館の移転はいいのですが、ホールの整備要望は先送りされています。 5 現鹿野総合支所の庁舎は、経年による老朽化はしているとはいえ、まだまだ活用出来ます。行政資料も含め、歴史的資料の保存場所等で活用されたい。 また、合併に伴う空きスペースの有効活用として、民間企業への賃貸も先駆的な手法であり、地域にとってはなくてはならない企業です。 私ども住民にとっては、鹿野の象徴ですので解体は理解できません 6 石船温泉憩いの家は、老人福祉施設として整備したものであり、3セクを活用して施設運営の健全化、効率化を図っており、観光交流施設への移行は反対です。 7 駅前整備や道の駅など新設施設が予定されていますが、新施設の管理運営の見通しが示されると良いのでは？また、駅ビルの整備に図書館機能を配置との報道がありましたが、公共施設再配置を検討するなかでは、整備すべきではないと考えます。
42	P22 P35 P37 ・その他全般に関すること ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所、鹿野公民館、コアプラザかの)	1 合併時の新市の建設計画は何だったのか？総合支所は合併時の協定に基づき地域の活性化、企画立案の出来る体制が求められる。 2 公共施設の再配置は周辺地域が疲弊し、ひいては中心部の衰退につながる。周辺部の発展があってこそ中心市街地が成り立つのではないのか？ ① 周辺部の高齢化がすすみ、自治機能が難しくなる。 ② 若者の減少により学校の存続に関すること ③ 各イベントの開催は市職員の支援が必要 ④ 鹿野地区は寒冷地であり除雪作業は不可欠。生活交通路の確保の面から ⑤ 商工会の維持存続に関すること ⑥ 金融機関(山銀)の引き上げが心配 3 総合支所は部長級の配置により本庁との関係が成り立つ 4 本庁舎の建設もいいが、各総合支所に地域性を持った課(分庁舎)を置く ① 農林業が主幹産業である鹿野地区には、中山間地対策として農林課を ② 地域にとけ込むやる気のある職員の配置を求む 職員の意識改革が必要 ◎ 公民館の廃止であるなら、コアにホールの増設をしてほしい。
43	P22 P35 P38 P39 ・その他全般に関すること ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所、鹿野庭球場、鹿野プール)	まず、パブリックコメントのあり方です。市の広報で「公共施設の再配置」についての意見を求めるとして、再配置計画(案)は、市のホームページを見てください。市役所や支所など市の施設に見に行ってくださいというのでは、見ないのは市民・あなたが悪いといわぬばかりのやり方は賛成できません。情報の公開だけでなく、情報を市民に知らせる取組みが大切ではないでしょうか。 計画案についての意見です。この配置計画は納得できません。反対です。 ① 合併して10年を目前にし、今から財政が大変になるからと言っていますが、地方交付税の特例措置が無くなることは合併する前からわかっていて、合併したときからそのための対策をとってくるべきでした。 ② 現在ある879の施設は、旧2市2町人口規模や特性、地域ニーズ等を背景に、各市町で計画的に設置されてきたもので、それぞれに必要性があった施設であることは言うまでもありません。と認めながら、他の10万都市に比べて多いから統廃合すると言っています。合併したら以前の必要性が無くなるものではありません。他に比べて多いことは悪いことではなく、サービスが充実していることで、誇るべきことです。 ③ 町民プールを無くして学校プールになれば、鹿野地域の大人は新南陽や徳山のプールに行かなければならないのか？とか、テニスコートが無くなれば、どこのコートをつかえばいいのか？など、鹿野地域に住む市民の不安や疑問は山積みしています。 ④ 一番大きな問題は、総合支所を支所にするという計画です。地域にとって大切な地域政策の調整、道路・橋梁・河川の維持管理、水道などの業務が無くなることです。先日、水道のトラブルがありましたが、総合支所の中の担当者のいち早い対応で短時間で解決しましたし、冬の時期の除雪も地域の道路事情がわかっている職員の方がおられるから安心が確保されています。 ⑤ 公共施設の保有数量の抑制は避けられない課題として、「現在の市民サービスを維持」し「医療、福祉、保健など社会保障分野の充実」するための課題といっていますが、施設が遠くなることはサービスの低下ですし、社会保障はどのように充実しようとしているのかは明らかにされていません。 ⑥ 市議会にも「公共施設再配置計画に関する調査特別委員会」が作られ、議論されているようですが、関係する市民の意見を十二分に汲み取られて具体的な計画にされるようお願いいたします。

No.	計画(案)該当箇所		市へ寄せられた意見の内容
44	P22 P35 P37	・その他全般に関すること ・V.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所、鹿野公民館)	1、鹿野総合支所の廃止について ・耐震構造不適格建物のため廃止と認定したのかをお伺いする。 ・総合支所をコアプラザに移管して支所に格下げする理由についてお伺いする。 ・総合支所と支所の機能、総合支所長と支所長の権限についてお伺いする。 ・支所に格下げした場合、鹿野地区住民のメリット、デメリットについてお伺いする。 2、鹿野公民館は既にコアプラザに機能移転済と説明されているが、鹿野で唯一約300人収容できるホール部分はどのようなのですかお伺いする。 3、各地区の主要産業(当地の場合農林業)に対する行政の考えについて本庁で対応するのですか？ 4、緊急時の対応は(台風、積雪、水害、山崩れ、など)面積が広く人家が点在しており今でも対応に難渋。その都度本庁から出張処理されるのですか？ 5、総合支所の格下げ、支所の廃止等は行政のサービス低下になるのではないかと？ (地域の難しい諸問題に、格下支所に対応できるか？) 6、周南市全体で小地域の多くの支所廃止は地域振興を阻害し、地域が疲弊し、周南市の発展とならないのではないかと？ 各地域がよくならなければ立派な市役所を建設しても、又、徳山駅南北橋上通路ができて、しばらくは物珍しさが人が集まるが、花火と化すのではないかと？ 7、地方地方と言いながら、中央中心の行政ではないかと？ 行政改革は必要です。議員の報酬、職員の給料、等見直しの余地はありませんか？周南市の辺鄙な山の中にも人が住んで生活しております。改革推進室の委員職員の皆さまこのことをお忘れなく！
45	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	1 地区ごとにもっと時間をかけて話し合い「何を残せるか」「何をなくすか」など、じっくり考えるべきと思う。 2 財源が苦しいからなくすという考えからこの計画を考えるのではなく、「質の良い生活を効率よく過ごせる市政とはどんなことか」ということから考えるべきと思う。 3 鹿野地区は市中心部から離れている。今ある最低限の課は残すべきです。その方法として2つの課を統合し、効率よく2つの課の機能を失わないようにする。 これから先「周南市に住みたいと思える市をどのように作っていけばよいか」「隣の市(特に下松市)に人々が流れていくようにならないか」この計画書はそのような点でも私達市民にとってとても重要な事です。財源がなければ「子育てできる環境を整える」など長期的に見た市政を望んでいます。
46	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	鹿野総合支所の廃止には反対します。職員は現在の人数を維持してほしいです。地域が広いので、近頃の異常気象による災害時や積雪対策、水道管破裂などに俊敏な対応ができなくなると思われます。又、大事な会議や申請など本庁へ行かなければならなくなり、大変不便になり、高齢化に増々拍車がかかることになると思います。中央ばかりにお金をかけず、地方、弱者にも気配りを住民が安心して暮らせる町づくりをお願いします。
47	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	上記計画(案)についてですが総合支所の廃止計画については、市民レベルの議論がほとんど行われていない状況で計画(案)だけが、突然発表をされたと感じております。 周南合併以前より長い間地域の拠点・シンボルとして庁舎は存在してきた歴史があります。その重要な施設である総合支所をコスト面というだけの切り口でやっていく手法自体が住民不在の中、計画立案されたものになっていると感じます。今一度地域の意見に耳を傾けていただいたなかで計画を練り直していただきたくお願い申し上げます。さらには、コスト面で考えるとすれば、農林関係行政の本庁機能を鹿野総合支所に配置した方がよほど経済的ではないかと考えます。
48	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	地域の住民にとって相談に行っても親切に対応して頂けるし、高齢者にとっても身近に感じられる場所がなくなると困ります。 高齢化の進む中山間にとっては除草等大切な作業です。住民が安心して生活していくためにも是非総合支所として残してもらいたいです。
49	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	鹿野地区の総合支所の廃止に関して大反対します。金融機関の問題だけではなく、もっと根本的な鹿野地区の町おこしの「熱」そのものを壊してしまう、全く信じられない案だと思います。 町おこしは、単に、飲食店や商工会がどれだけ頑張っても、地元の人達の鹿野を愛する気持ちが無いと駄目なのです。今まさに鹿野が起こされようとしている大事な時期に、このような、鹿野の人の心を壊してしまうような案を出す人間は誰ですか。鹿野に支所があり、商工会、銀行、スーパー、病院、飲食店、スタンド、会社、IC、おいしい米、野菜、自然があり、鹿野単体でももう1度やっていけるようになるという気持ちがみんなの町おこしの源ではないのですか？ 桜があって、あの古さの建物が味があって良いのです。修復箇所が出たら、その部分を地元業者が修復したら駄目なのですか。事務庁舎の経過年数を見ると本庁舎は57年、あと17年は存続させてください。その時になったら、町おこしが終わり、人も増えて、コアプラザでは対応できなくなりますよ。
50	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	高齢化が進む中、今の総合支所は絶対残してください。鹿野以外になると、たいへん便利が悪く、年寄りには困ります。 この案について、もう少し話し合い・説明が欲しいです。

No.	計画(案)該当箇所		市へ寄せられた意見の内容
51	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	このまま継続してほしいと思います。
52	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	このまま継続してほしいと思います。
53	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	鹿野総合支所を今までどおりをお願いします。
54	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	高齢者の多い鹿野の総合支所がなくなると行政サービスを受けにくくなると思います。残してほしいと思います。
55	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	①距離的にする ②人が多くさん集まる所 重点に残して頂きたいと思っています。
56	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	地区単位老人クラブ会員50名の皆さんは、総合支所がなくなり徳山に行く事になれば、車に乗れない者には大変な事になる。総合支所は残してほしい思いが皆さんの願いです。
57	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	鹿野町民の生活を維持していく為には絶対に残してほしい。(鹿野総合支所)
58	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	総合支所廃止は大反対。行政は何かにつけ予算がないからと、山間地域、人口が少ないからと、中心地に比べると見捨て状態にあります。住民私達は何を置いても行政行事には、ボランティアで参加しています。これから増々高齢化も高くなるので不便を感じない改革こそが役所の仕事だと思いますので、存続をお願いします。拡く片寄らない住みよいサービスを提供よろしくお願いします。
59	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	鹿野総合支所がなくなると鹿野はなくなります。
60	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	反対です。気軽に利用できるのが強みなのに他へ移すと不便する人がたくさんいます。鹿野にはぜひ残して欲しいです。
61	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	鹿野総合支所の存続を希望します。
62	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	鹿野総合支所廃止には反対。山間地でのサービス低下が進み、いろんな面で絶対反対。住民の意見をよく聞いて理解をうることが第一番。
63	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	役所の用事のたびに鹿野から徳山まで行く事が大変。近くだと子どもからお年寄りが助かります。鹿野に支所は大事です。よろしくお願いします。
64	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	鹿野の経済をつぶす気か。建物一つなくなることにより経済が大きく変わる。鹿野に住むなということか。

No.	計画(案)該当箇所		市へ寄せられた意見の内容
65	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	高齢化が進むなか、商業、農業を中心に町の活気を取り戻そうと頑張っている中、「鹿野総合支所廃止」について、市当局の皆様方は住民の苦しみがおわかりないです。介護施設も多々あり、日本の中でも自然の美しさ四季観あり、景観の美しさは他にないと思います。 総合支所を中心に自然を生かした活気ある街として、当局が応援すべき大きな事業を逆に踏みにじろうとしている事に断固許せない不満一杯です。年老いていく者に対して交通の便もなく、不安の毎日が続くのですか？
66	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	上記の計画(案)に反対の立場です。周南合併した時には対等合併として行われ、行政サービスの維持と市民負担の軽減を両立させると言われておりました。合併後10年しかたっていないのに、行政サービスはどんどん低下しているし、負担はどんどん増えているように思います。この上現総合支所が廃止になれば、どんどん取り残された地域となるし、市民の声も市政にどんどん届きにくくなるように思います。逆に支所機能を強化していただき、周辺部と中心部の一体感の熟成を担うため総合支所を今まで以上に重要な位置付けにしたいと思っています。
67	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	今まで鹿野でできていた事ができなくなると、非常に不便で困ります。反対です。
68	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	税務、諸証明などに関すること 全て不便になる 絶対に反対です
69	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	鹿野総合支所の廃止には、ぜったい反対です。 団塊世代が高齢化していく中、一番必要！！今ある場所で使える物を使って行く。本庁は、こんなご時世に莫大な費用をかけないで今の規模で徳山に見合った建物を作ってほしい。 映画館もデパートもないさびれた街にりっぱな庁舎は不釣り合いに思えてなりません。 市民の納めた税金をくれぐれも慎重に使ってもらいたい。
70	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	今まで地元で出来た申告等も、街まで出向くようになり、辺地に住み一人暮らしをする高齢者として、今より不便にならなようお願いします。 冬に向かい道路の除雪等、不安は一杯です。 合併10年、鹿野の地がこれ以上淋しくならない様に！
71	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	総合支所をなくすことは、本庁舎から距離の遠い地域に対してのいじめであり、また、対等合併が反故にされる。サービスは高く負担は低くといった周南合併はなんだったのか。少なくとも市民全体でサービスを落とし、負担を背負う必要があるのではないのか。本庁から遠い地域へのサービスは確実に低下する。徳山に新しい本庁舎が立ち、その周辺の人は距離が近くていいが、遠方に住む人たちはサービスが受けられない。2市2町のあったところに子どもや高齢者、障害者にとっては、その地域でワンストップサービスができなければ合併した意味がない。 また、地域を維持していくのに本庁から雪のけに来るのか。人が死にそうな時、医療を受けることができるのか。メールやネットだけで済まないことはたくさんある。中山間地域だけにしわ寄せし、人がいなくなるよう負の循環をつくるのは行政がやることとおかしい。 中山間地域の経済や福祉、教育をどう考えているのか。地域をつぶす方策を行政が行っているのか。条件不利地域のあらゆる条件を数値化できていない。ソフト対策が悪いのに単に施設のせいにして欲しくない。中山間地域の経済循環をどう考えるのか。中山間地の福祉対策をどう考えるのか。教育行政をどう考えるのか。それらと連動して公共施設の再配置を考えないと意味がない。
72	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	会員は今の総合支所から近い人で4km、遠い人は13kmに居住しており、車の運転もできない人がほとんどです。家から県道に出るにも冬は除雪をしなければタクシーにも乗れません。総合支所のある今は、小さい市道まで除雪車で除雪していただきますが、鹿野以外の職員では、地理もわからず、無理でしょう。 災害発生時にはどうなるのでしょうか。徳山から救助に来てくださいますか？ 本庁まで、約30km～50kmの地区の事も考えて計画を進めてください。総合支所の廃止には絶対反対です。

No.	計画(案)該当箇所	市へ寄せられた意見の内容
73	P35 別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	鹿野総合支所の廃止はかなり不便です。その中でも銀行が無くなってしまうのは困ります。
74	P35 別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	公共施設再配置計画について、地元の高齢者の方々、地元商工業者の方々は非常に心配しています。(行政サービスの低下、銀行の出張所の格下げ等々…) 銀行については、合併により、鹿野地区に指定代理の窓口は必要なくなり、銀行も一企業であり、採算の合わない店舗は統廃合あるいは出張所に格下げは当然考えるでしょう。しかし、そのようにならない様地元市民の為に、努力するのが行政の仕事ではないでしょうか？ 財政が厳しいのは承知しています。「これ以上、子供たちに負担を残してはならない」と言われた市長の公約には共感しています。しかし、田舎を切って新庁舎建設はないでしょう。市民全員が平等に我慢するのであれば、今回の計画に賛成します。田舎を切っての新庁舎建設には断固反対します。
75	P35 別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	鹿野総合支所廃止を反対できるものなら反対します。いたしかたない場合は、交通の便が良くない鹿野だから鹿野ですべての用を足せる事を望みます。銀行ももっと楽に行けるところに設置を望みます。
76	P35 別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	鹿野総合支所の廃止について反対いたします。 理由として、 ①総合支所を廃止する事により、目の行き届いた行政は無理なのではないですか。 ②廃止により、現在入居している金融機関が撤退となれば、鹿野地域の事業者は資金繰り等難しくなり、事業の存続が危ぶまれる。 その結果、過疎が進み、町が寂れ、道路や用水路等これまで以上に維持管理にお金がかかるのではないのでしょうか。 ③近年、集中豪雨等災害が多発している中、その際の住民の避難等災害対策が手遅れになる危険がある。遠くの本庁から、鹿野、大向地域の対応ができるのですか。防府市での豪雨で多くの人が亡くなられたような事を繰り返すのですか。
77	P35 別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	鹿野地域では高齢化率が進んでおり、鹿野総合支所の廃止等になれば、現在の施設で受けているサービスが廃止になるわけであり、庁舎に併設されている金融機関の動向も心配です。鹿野地区にとっては重大な事柄であり、鹿野総合支所の存続を機能いたします。
78	P35 別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	※鹿野総合支所に関して 鹿野総合支所の廃止～コアプラザかのへの機能移転には、断固反対です。 現在地での行政窓口機能の存続及び、隣接金融機関(山銀支店)の継続を強く希望します。 理由 ①コアプラザかのは、文教地区に隣接した狭い場所に立地しており医療機関も備えているため、学童が頻繁に往来する上、高齢者の往来も多い。 アクセスする道路は総じて狭く、学校に面して曲がりくねって見通しが悪かったり、急坂があるなど利便が悪い ②現在の鹿野総合支所は鹿野中心市街のランドマークでもあり、さびれる一方の中心市街への人車の流れの最後の拠り所ともなっており、市街外れに所在するコアプラザかのへの支所機能の移転案は中心市街の息の根を止めるほどの改悪になると想定される。
79	P35 P42 別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所、鹿野天神山レクリエーションゾーン)	このたび周南市で種々見直し案が出されました。新南陽、熊毛も行うので鹿野も我慢せよという声も聞きました。しかし、同じ標高で一本の道で本所とつながっている両地域と違い、鹿野は標高360メートルから500m、本所と距離が離れております。公共施設、鹿野支所、又金融機関は是非当所に残して欲しいというのは殆どの住民の思いだと思います。鹿野在住の市の若い職員がいろいろな面で鹿野の支えで助かっておりました。鹿野からドンドン姿を消し、一番の弊害の人口の流出が合併によって進んでいるという実態があります。天神山公園が対象となっており、漢陽寺にかけてこの環境の素晴らしさに九州、広島から訪れる観光客が多いという実態を御存知ですか？周南にはない景観です。「平成の名水百選」に指定されている所です。それを事業仕分けの対象になっていることに憤りを覚えます。鹿野はみんなせっぱつまった感で頑張っています。
80	P35 別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	鹿野総合支所が(現場所)廃止となれば併設されておられる山口銀行鹿野支店も閉店されるのではないのでしょうか。商店はますます機能を失い次々と閉められるのでは？銀行様の意見は大きいと思う。今の場所に役場があって銀行、JA、局が集まった町なかであってほしい。

No.	計画(案)該当箇所		市へ寄せられた意見の内容
81	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	仮に総合支所が廃止されれば、山口銀行鹿野支店の廃止が現実味を帯びてきます。今回、徳山の近鉄松下百貨店が撤退する様な鹿野地域での大きなダメージを生じます。鹿野の場合、ただ、総合支所が無くなるだけの問題ではないのです。
82	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	鹿野総合支所が廃止になると山口銀行鹿野支店はどうなりますか。
83	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	金融機関の存続と鹿野地区の住民サービスのいちじるしい低下になるため絶対反対する。
84	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	庁舎に併設されている銀行はどうなるのか？高齢者の多い地域なので、無くなるのは不便である。行政機能に関しても通常な状態であるなら問題はないであろうが、何事が起こった時に、すぐ対応できるのか？だんだん不便になるような地域に新しい住民等も入っては来ず、増々高齢化が進むという悪循環におちいるのは目に見えていると考える。中央の事だけを考えず、住民全体も見て欲しい。
85	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	この計画(案)について初めて知ったのですが、鹿野総合支所を廃止の計画がされているようですが、現在の総合支所は鹿野地区のほぼ中央に位置しており、また、最近、総合支所横に山口銀行鹿野支店が併設されて以来、日常的に多くの方が利用されています。市民としては現在ある総合支所が最適地ではないかと感じられます。鹿野地区としては、大事な案件なので、もう少し時間をかけて慎重に議論される事が必要だと思います。市民の皆様のご意見を集約されてできる限り鹿野総合支所は存続される事を市民としてお願いいたします。
86	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	金融機関はなくて欲しくないと思います。建物がなくなるという事だけでもとても淋しい気がする。今まで通りの機能が本当に果たせられていくか本当に心配である。
87	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	我が町は急速に高齢化が進み、町中は廃業等で閑散と冷えきっています。そんな中で鹿野総合支所の廃止、コアプラザへの統合となりますと、やっと慣れた山口銀行への利用が高齢者の方等パニックになります。私共、商売をしている者にしても不便、極まりない事になります。どうか机の上だけではなく地元の目線で一番いい方法をとっていただきたいと思います。
88	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	コアプラザかのに鹿野総合支所が移転するなら山口銀行鹿野支店もコアプラザに入居できるように配慮しないと支店が撤退につながる恐れがあり、暮らしに大きな影響がでることになる。
89	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	コアプラザかのへ統合 金融機関もコアプラザへ移転
90	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	・現在、山口銀行が支所の一部に入っているが、山口銀行鹿野支店が支店機能の存続ができるよう切望する。 ・中山間地域の発展に取り組む最中、この計画は矛盾していると思う。 ・防災無線の機能の存続
91	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	山口銀行鹿野支店の現在の形での存続はどうなるのでしょうか。窓口がなくなるのは不便です。
92	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	コアプラザに移転するのなら、山口銀行も公民館の演劇も上演できるような、講堂型式の文化ホール等も、一緒に整備してください。
93	P35 P37	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所、コアプラザかの)	コアプラザかのは、鹿野の子どもたちが様々な活動をする拠点となっているが、総合支所が入ることにより活動が制約されることになる。ただでさえ鹿野小学校の体育館を鹿野中学校と複合で使っているため、スポーツ少年団は十分な利用ができず、スポーツ少年団活動が衰退していった。行政の施設運営のまずさを棚上げて市民活動を制約するのはおかしいのではないか。施設を複合的に使うことは子どもたちだけでなく、その他の地域活動も制限されることになり地域活動が停滞しコミュニティは衰退する。地域コミュニティを活性化させるためにはその目的にあった個別の施設は必要である。単にお金の問題だけで施設統合はしないでほしい。地域コミュニティ活動を停滞する方策はやめてください。

No.	計画(案)該当箇所	市へ寄せられた意見の内容
94	P35 P37 別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所、コアプラザかの)	コアプラザは、市民が生きがいをもち、いきいきと健康で住みよい地域社会の実現に向けて、保健、福祉及び医療の推進並びに地域活動、高齢者活動及び女性活動の促進を図るために設置されている。総合支所には総合支所の機能があり、それをコアプラザに統合するのはおかしい。保健、福祉及び医療の推進並びに地域活動、高齢者活動及び女性活動の促進が阻害される。
95	P35 P37 別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所、コアプラザかの)	コアプラザに統合して提供されているサービスを存続してほしい。でも今までのコアプラザの機能を失うようなら反対。(みなさんがいろいろとサークル活動をしている所。そのままおいてほしい)
96	P35 別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	・住民に詳しい説明もなく一方的な意見には賛成できない。 ・過疎化が早まる。 ・住民へのサービス低下になる。 ・鹿野にも教育文化、福祉、観光施設等を無視した政策である。 ・総合支所が古いのであれば建替えて欲しい。 ・山口銀行撤退で商工会が成り立たなくなってしまう。 ・もう少し早く市民に知らせるべきだ。
97	P35 別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	・鹿野総合支所廃止断じて反対。鹿野町民が作った支所である。 ・コアプラザへの機能移転、市民に支障がなければOK ・行政改革推進室という立場の人が関わっているのか知りたい。 ・市長となる方には、この財政難の時、市民と同じ働きではいけない。常に危機感を持って仕事にあたって欲しいと私は思います。
98	P35 P37 別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所、鹿野公民館)	①この再配置計画(案)は効率の名の下に、周辺部の行政組織を新庁舎に集中しようとするものであるが、中央一極集中だけが行政改革ではなく、多極分散こそ新時代の趨勢で、行政改革にもなると考えられるし、広範な市域の均衡ある発展にもつながるものである。 周辺部への配慮が全然感じられない本計画には反対である。 ②鹿野総合支所は廃止とあるが、周辺部へのサービス低下と切り捨てにつながるもので、経費節減だけの目的での計画には絶対反対である。 むしろ、周辺部の農林業地振興の面から、農林課や中山間地域振興課は鹿野総合支所にあっても不自然はないし、現場を見て行政ができるのではないか。 ③鹿野公民館は廃止とのことであるが、その場合、代替となるホールが必要であるが、建設してくれるのですね。
99	P4 P22 P37 ・Ⅱ.公共施設の現状と課題1.公共施設の保有数図表1ー2平成22年度市町村公共施設状況調査 ・Ⅴ.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所、コアプラザかの)	○鹿野地域の「保健、福祉、医療、地域活動等」を促進する施設として設置した「コアプラザかの」に当初から社協鹿野支部事務所が入っているが、総合支所機能が「コアプラザかの」に移転する場合、社協事務所は現状維持か。 ○一体性の確保と適正配置とは何を基準に。 ①支所が何カ所あっておかしくない広さである鹿野地区は、市域の約30%の面積があり、総合支所を利用する住民の最長距離は12kmであるが、中心部の支所利用との整合は。 ②本庁から総合支所までの距離は約27kmあるが考慮されているのか。 ③周南市公共施設再配置計画(案)P4ページの平成22年度市町村公共施設状況調査でのランキングでは人口10万人当りの比較であるが、市の面積を考慮した比較はしてあるのか。(市の面積が狭く、人口が多ければ当然公共施設は少ない。) ○市職員削減による影響。 ①地域ハンディ(◇高齢化率約41%◇毎年90人程度の人口減による過疎化が現在進行中◇積雪地帯)の中で、今住んでいる人たちが今後も住み続けられるような地域振興策と組織縮小は運動していないのでは ②中山間地域振興の対応は。 当地区では、過疎化の危機感の中で地域の活性化に向けて住民自ら様々な取り組みをしており、この取り組みに総合支所職員も一住民として活動しているが、今後職員減少により手助けができなくなり、今の取り組みが続けられなくなる恐れがある。(過疎化や高齢化による人材不足を市の職員が補っている) ③災害時の対応は。 (例)2006年の杵島土砂崩落の際には、鹿野総合支所職員も借り出されたが、2010の鹿野地区では近年ない豪雪時であったが、どこからの応援もなく総合支所職員だけであった。 次に続く

No.	計画(案)該当箇所		市へ寄せられた意見の内容
	P35 P37 P38	・その他全般に関すること ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所、鹿野公民館、鹿野庭球場)	上段に続く ○総合支所機能を「コアプラザかの」に移転する場合、防災行政無線はどうなるのか。(旧鹿野町では広い面積と高齢化にも対応するため個別無線を整備しているが次も整備するのか) ○総合支所機能を「コアプラザかの」に移転することによって、山口銀行の撤退が考えられその影響は住民・商業者とも大きいと思われるがその対応は。 ①撤退をつなぎ止める方策は。 (例)市が山口銀行を「コアプラザかの」に移転する費用を負担するなど。 ○鹿野公民館を廃止し、「コアプラザかの」への機能移転済みとなっているが、旧公民館は「コアプラザかの」の付属施設として存続するのか。あるいは施設を取り壊す場合、ホールは「コアプラザかの」に併設して整備するのか。 ○鹿野庭球場は、現在利用者が自費でハードコート修理をして利用しており、昼間働く者にとって夜間照明でのテニスは唯一こしかな。次期大規模改修時に廃止となっているが、具体的に大規模改修時期とは。(廃止する場合、「ふれあいひろば」を土グランドから人工芝コートに改修すれば夜間照明もあり、今より多目的に利用でき利用者増が見込まれるが、将来的に整備の考えは) ○周辺部の地域資源を活かした部署を配置しては(◇鹿野診療所を核とした地域医療体制の構築での担当部署◇中山間地域の資源を活用した森林バイオマス等の担当部署) ○中心部だけに公共施設が集中すれば、ますます周辺部から若い人が中心部に集まり、中山間地の過疎化を助長するのではないかと心配しています。 ○ハンディのある地区を維持していくには、人と費用がかかるのは当然であり、費用対効果の判断だけでは周辺部や中山間地域は超不利となり、今住んでいる住民を切り捨てるのではないのでしょうか。「誰もが輝き、支えながら、安心して暮らせる鹿野のまちづくり」にならないと思います。5年後、10年後の鹿野の将来がどうなるかとても心配している一人です。
100	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(本庁舎、新南陽総合支所)	新南陽地区施設の計画案を拝見しました。 殆ど全て賛成ですが、新南陽総合支所廃止については、新南陽地区の施設で、住民票、戸籍抄本・謄本、印鑑証明書程度は取れるようお願いします。 又、新庁舎が市民が行きたくなくなるような施設となるよう(利便性、雰囲気、対応される職員の方々の手際の上手さ)願っています。
101	P35 P37	別表1 対象施設の検証結果一覧表(新南陽総合支所、新南陽図書館)	無駄な施設廃止には賛成だが、旧新南陽図書館、市役所については無くなると子供達や高齢者が自転車、徒歩で気軽に図書館が利用出来なくなり、市役所も高齢者等には利用が不便になる。必要な公共施設が無くなるのであれば周南市が合併し良かったと感じる事が何も無い。
102	P35 ～	別表1 対象施設の検証結果一覧表	旧新南陽地区の公共施設については、駐車スペースも充分確保されており、使用し易い状況です。徳山地区だけに公共施設が集中してしまうと、遠方になり交通も不便になってしまいます。これまで通り、新南陽地区及び徳山地区での分散型を求めます。
103	P35 P38 ～39	別表1 対象施設の検証結果一覧表(本庁舎、新南陽総合支所、新南陽球場、新南陽プール)	周南市におかれては、現在2016年度を目指して新しい本庁舎の着工を見込んでおられ、こうした中で、新南陽総合支所、新南陽球場、新南陽プール等の新南陽地区に現在ある施設の統廃合を計画されているが、新庁舎建設をはじめ、公共施設の適正配置や、予算効果等を含めた今後の方向性について、十分に精査し、見直しをいただくよう要望します。
104	P35 P37	別表1 対象施設の検証結果一覧表(新南陽総合支所、新南陽図書館)	新南陽総合支所、新南陽図書館の廃止には反対です。 3才の子供がおり、図書館に行くのを楽しみにしている。 両親ともに80才を超えており、諸々手続きができる場所は近くにあるといい。(総合支所)
105	P35 P37	別表1 対象施設の検証結果一覧表(新南陽総合支所、新南陽図書館)	新南陽図書館、新南陽大交番、市役所の三ヶ所は是非残して下さい。 一昨年60才前になってやっと富田中学校西側にマイホームを建てました。この土地に決めた大きな理由が図書館や警察署(大交番)、市役所が近く老人になっても安心して暮らせると思ったからです。これから高齢化社会になります。年寄りにやさしい町作りをお願いします。
106	P35 P37	別表1 対象施設の検証結果一覧表(新南陽総合支所、新南陽公民館、新南陽図書館)	新南陽総合支所、公民館、図書館等は、今後進む高齢化の中で、高齢者への配慮も十分に念頭に置き、施設の統廃合を再検討すべきではないかと思う。
107	P35 P37	別表1 対象施設の検証結果一覧表(新南陽総合支所、新南陽図書館)	地域住民の生活環境水準維持の為、新南陽地区の旧市役所、旧警察署、図書館の存続を要望する。

No.	計画(案)該当箇所		市へ寄せられた意見の内容
108	P35 P37	別表1 対象施設の検証結果一覧表(新南陽総合支所、新南陽図書館)	地域住民の生活環境水準維持の為、新南陽地区の旧市役所、旧警察署、図書館の存続を要望する。
109	P35 P37	別表1 対象施設の検証結果一覧表(新南陽総合支所、新南陽図書館)	地域住民の生活環境水準維持の為、新南陽地区の旧市役所、旧警察署、図書館の存続を要望する。
110	P35 P37	別表1 対象施設の検証結果一覧表(新南陽総合支所、新南陽図書館)	地域住民の生活環境水準維持のため、新南陽地区の旧市役所、旧警察署、図書館の存続を要望する。
111	P35 P37	別表1 対象施設の検証結果一覧表(新南陽総合支所、新南陽図書館)	地域に密着した施設の方が、地域住民の生活には便利な為、新南陽地区の旧市役所・旧警察署・図書館の存続は必要であると考える。
112	P35 P37	別表1 対象施設の検証結果一覧表(新南陽総合支所、新南陽図書館)	地域住民の生活環境水準維持の為、新南陽地区の旧市役所、旧警察署、図書館の存続を希望する。
113	P35 P37	別表1 対象施設の検証結果一覧表(新南陽総合支所、新南陽図書館)	住民の生活において増進出来るような施設をお願い致します。(新南陽地区の旧市役所、警察署、図書館の存続は必要です)
114	P35 P37	別表1 対象施設の検証結果一覧表(新南陽総合支所、新南陽図書館)	地域住民の生活環境水準維持の為、新南陽地区の旧市役所、旧警察署、図書館の存続を要望する。
115	P35 P37	別表1 対象施設の検証結果一覧表(新南陽総合支所、新南陽図書館)	地域住民の生活環境水準維持の為、新南陽地区の旧市役所、旧警察署、図書館の存続を要望する。
116	P35 P37	別表1 対象施設の検証結果一覧表(新南陽総合支所、新南陽図書館)	地域住民の生活環境水準維持の為、新南陽地区の旧市役所、旧警察署、図書館の存続を要望する。
117	P35 P37	別表1 対象施設の検証結果一覧表(新南陽総合支所、新南陽図書館)	地域住民の生活環境水準維持のため、新南陽地区の旧市役所、旧警察署、図書館の存続を要望します。
118	P35 P37	別表1 対象施設の検証結果一覧表(新南陽総合支所、新南陽図書館)	地域住民の生活環境水準維持のため、新南陽地区の旧市役所、旧警察署、図書館の存続を要望します。
119	P35 P37	別表1 対象施設の検証結果一覧表(新南陽総合支所、新南陽図書館)	地域住民の生活環境水準維持の為、新南陽地区の旧市役所、旧警察署、図書館の存続を要望する。
120	P35 P37	別表1 対象施設の検証結果一覧表(新南陽総合支所、新南陽図書館)	地域住民の生活環境水準維持の為、新南陽地区の旧市役所、旧警察署、図書館の存続を要望する。

No.	計画(案)該当箇所	市へ寄せられた意見の内容
121	P37～39 別表1 対象施設の検証結果一覧表(福川図書館、新南陽プール、尾崎記念集会所)	この計画において思うことは、各地域での活動の場を失うことになるのではということです。周南市として、今の態勢は中央集権を目指しているように思われます。しかし、広範囲におよぶ市になればなるほど、各地域が活発にならないければ、今後の発達は無いように思われます。その上でもこの公共施設再配置計画においては、各地域で活動しようとする人達の受け皿がどんどん減らされてしまうことが残念でなりません。これでは、将来を担う子どもたちの芽をつんでしまうのでは、と危惧しております。地域で豊かに育った子どもたちの心は、大きくなっても消えることはありません。小さな地域でも近くに受け入れの場があり、活動できることは将来の周南市を発展させることになると思います。 1. 福川図書館について ふれあいセンター内での図書館については、やや機能性等について疑問はありますが、近くに図書館があるということは、気軽に本を借りたりできるのでとても便利に思っています。とはいえ、利用状況その他において、存続が無理ならばせめてインターネットなどで予約した本を受け取ったり、返却できるシステムだけは、残して欲しいと思います。 2. 新南陽プール廃止について 現在旧新南陽にはプール施設としては、永源山と福川にあるだけです。福川のプールには毎年多くの子どもたちが利用しているように思われます。50mプールは現在競技用として使用されていないのでしょうか？もし競技用として使われていないのであれば、少しちがった形にして、この場所へのプールは存続させていただきたいです。 3. 尾崎記念集会所廃止について この施設を利用して「どんぐり文庫」を平成20年3月に開設しました。地域の子供たちや大人のたまり場として、この閑静な場所はとても良いところだと思っています。また、この文庫の本の提供者である松田素子さんから送られてくる新しい絵本や児童書をいち早く子どもたちに届けることが出来、読み聞かせなどをして、子どもたちに本の楽しさを知ってもらうために、頑張っています。週に1回ですが、親子で楽しみに来て貰える場にもなっています。これからも、地域に根ざした文庫活動が出来ればと思っています。 次に続く
	P35 P39～40 別表1 対象施設の検証結果一覧表(新南陽総合支所、保育園)	上段に続く 4. 新南陽総合支所がふれあいセンター内になることについて いろいろな、相談事や書類提出等々、ふれあいセンター内においていままでのような市民サービスができるのでしょうか？いざといえど本庁へとなれば、これから先高齢化となる社会においてますます不便になってくるのではないかと、心配しています。 5. 保育園等の民間譲渡について 子どもの教育について、一番大事な幼児期に民間に委託するということは、とても心配です。民間になると、それぞれのところで方針が違って来るし、子どもたちが平等な教育を受けることができるのでしょうか？市が行うちゃんとした教育方針のもと(利益を追求することなく)、親が安心して子どもを預けることのできる施設を目指して欲しいと思います。将来を担う子どもたちです。どうぞ大切にしていきたいと願っております。
122	P22～23 P35～36 ・V.利用形態別方針 1.事務庁舎(1)庁舎等 2.市民交流施設(1)公民館等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(長穂支所、長穂公民館)	○支所・公民館の存続要望 支所・公民館は、地域住民の活動拠点、安心・安全の拠り所となっています。統廃合することは、行政サービスの低下を招くばかりでなく、地域の過疎化が進み、土地・家屋が荒れるなど地域住民の生活基盤である安心・安全をも失うものです。国土を守り、地域住民の生活を守るうえでも支所・公民館は重大な任務を負っています。したがって、支所・公民館は地域の拠点として是非とも必要な施設ですので、現機能を備えた継続を強く要望致します。 ○長穂支所・公民館の移転要望 2012年9月19日付け、長穂支所・公民館の移転を求める要望書でお願いしておりますとおり、長穂支所・公民館につきましては、10年前から毎年国道315号沿い(長穂支所)に移転要望をお願いしております。現在の長穂支所・公民館は、昭和46年に都濃町と徳山市の合併を条件とし建設され、昭和48年からは国民宿舎「長穂荘」として運営されてきました。ところが、利用客の減少から昭和62年3月に国民宿舎を廃止し、長穂地区住民投票により、昭和63年建物の一部を改築し長穂支所・公民館として利用することになりました。老朽化した建物を有効活用しているわけではありますが、今回、長穂地区の全世帯を対象にした住民アンケートでは、 ・自然災害を考えると防災拠点として活用できる場所(中心部)でない。 ・現在の長穂支所が地域の北端に位置し、各種申請や会合などにあまりにも利用しずらく、また、手前が急な坂道であるため高齢者には非常に負担になって車両での送迎がなければ利用できない。 ・施設があまりにも広く、また耐震補強も行われておらず、一部老朽化していることから雨漏りがするなど使用困難で維持管理、清掃等に多くの負担があるなどの意見が寄せられました。こうしたことから、長穂支所・公民館を長穂の中心部である315号線沿い(長穂小学校)に移転していただくことを強く要望致します。財源が厳しい折、現在の小学校を活用との案もございますが、長穂小学校は昭和38年に建築された施設でかなりの老朽化が進み耐震補強もなされていません。したがって、長穂支所・公民館につきましては、現在の小学校を解体後、同じ場所への移転を強く要望致します。

No.	計画(案)該当箇所		市へ寄せられた意見の内容
123	P35	別表1 対象施設の検証結果一覧表(旧久米支所)	旧久米支所の廃止案がささやかれています。 私どもは、この施設を卓球を通じて地域のコミュニケーション、健康づくり、人絆づくりに非常に役立てています。古い施設(耐震性)という事も十分理解できますが、万一廃止される場合、この周辺に同じような施設の建設を切にお願い申し上げます。
124	P36	別表1 対象施設の検証結果一覧表(戸田四郎谷公民館)	1. 譲渡について 当館は半世紀以上経っており老朽化は著しいです。そんな状態で譲渡されても今後の維持、管理に不安があります。しかし地域の拠点でも有りこれから必要です。 今後、市の担当者との協議する機会はあるのでしょうか？ 2. 避難場所 当地区の避難場所は戸田小となっていますが、移動は危険な為一次避難場所は当館としています、地域管理となった建物にいて二次災害に遭った時の市の対応は？(東北の災害でも個人的避難は、置き去りでした、公の所には救難の対応もされました) 3. 市との連携 地域の暮らしの中で戸田支所は重要なパイプです、支所が有るお陰で色々な問題も解決してこれました、特に当地区は過疎地です、自治会の活動も機能しなくなる懸念があります。市との連携、和をどのようにしていくのか？
125	P37	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野公民館)	少し、ピントはずれかも知れませんが、旧公民館の活用法です。以前、葬儀場にとの話が出て没になったことは聞いています。学校や周囲の民家と近いということ、その他の理由で反対があったそうです。 そこで、夜、ひっそりと行われるお通夜だけでもできないかと思っています。様々な家庭の事情で自宅での通夜が困難といって、葬儀社まで出かけにくい。という方がいらっしゃいます。年間を通じて決して件数は多くない、ゼロかも知れませんが、その方々のために、現在の和室をそのまま(改装不要)「お通夜のみ可。」として頂けたら安心ですし、嬉しいです。
126	P37～38	別表1 対象施設の検証結果一覧表(福川図書館、大田原自然の家、尾崎記念集会所)	・大田原自然の家 30周年という長い歴史ある大田原自然の家は、市内では唯一の形態の教育施設で年間1万人を超える利用者があり、豊かな自然の中で親子の共通体験のできる素晴らしい施設です。乳幼児、学童、中高大学生そして一般、社会人が利用しています。学校教育とはまた違う教育の施設としての役割を大きく果たしています。 私も最初は参加者としてわが子と一緒に楽しませていただきました。作物を育てる農業体験、山や川での自然に触れた遊び、四季折々の豊かな行事体験などかけがえのないものです。今はどろんこ村のボランティアとして参加しています。次代をになう子ども達に、また、両親に是非経験してほしい施設です。 子どもは未来そのものです。心豊かな子ども達を育てるためにも、実績ある大田原自然の家の大田原での存続を強く望みます。 ・福川図書館について 県下初の図書館と聞きました。歴史を受け継ぐべく、また、西部地区の住民のためにも身近に利用しやすいように、何とか継続をされるよう検討願います。 ・尾崎記念集会所について 現在ささやかですがどんぐり文庫で、絵本貸出しや、読み聞かせが行われています。廃止となった場合、この活動が続けられるように配慮、検討をお願いいたします。
127	P38	別表1 対象施設の検証結果一覧表(大田原自然の家)	周南市施設の統廃合の計画の中に、大田原自然の家の一部取り壊し等の計画があるようですが、今後どの様になって行くのか心配でなりません。自然の家の運営上、どの建物が無くなっても大変難しくなって行くと思います。今年は、開所30年となり、これまで多くの子供達との心の触れ合いで大事なきずなをつくって来た大切な場所ではないかと思えます。30年間多くのボランティアの方々が参加されて、少しでも将来を担う子供達の為にと骨を折ってくださっている事は、本当にすばらしい事だと思います。超過疎の地域の支えとなってもらった事だと感謝にたえません。健全な心を持つ子供達の夢のある施設ができる事を心からお願い申し上げます。
128	P38	別表1 対象施設の検証結果一覧表(大田原自然の家)	・大田原自然の家 今日の少子高齢化や急激に変化する社会構造の中で、長く子ども達の心身の成長を補完して来た自然の教育力は、急速に失われています。今、子ども達が豊かな自然の中で思い切りのびのびと、体全体と五感を使っの様々な実体験を、安心安全な環境の中で行うことは非常に難しくなっています。 そうした中で、大田原自然の家の学校、少年団、家族など子どもを中心に据えた野外教育施設としての役割は、ますます重要になって来ております。近く大津島に海洋型の施設が設置されますが、気軽にマイカーで訪れて豊富な体験活動を通して、将来の糧になる「生きる力」を培うことのできる大田原自然の家はかけがえのない存在です。 30年前に廃校の有効活用として開所しましたが、多くの行政・教育関係者の理解と学生からお年寄りまでの数多くのボランティアの施設づくりと運営などの協力によって、アットホームな揺るぎない存在感と役割を果たしています。 しかしながら築後70年近くを経過し、老朽化した旧校舎部分の解体は致し方ないことだと思いますが、解体後のことを考えれば、20年前に建設したログハウス5棟では収容しきれない大人数の利用が年間30団体近くあります。また夏休みには利用団体が重なって混雑している現状です。 次に続く

No.	計画(案)該当箇所		市へ寄せられた意見の内容
	P38	別表1 対象施設の検証結果一覧表(大田原自然の家)	上段に続く そこで提案ですが、軽費な財源を投入して、スリム化して機能的な施設にリニューアルする必要があると思います。厨房と事務室部分は切り離しが可能ですから、簡単な耐震補強工事を施して使用できると思います。便所は近年水洗化し建物は強固ですので、そのまま活用が可能と思います。そして、更地になった場所に50畳程度の食堂、宿泊室、集会所などを兼ねる多目的ホールを設置してもらえば、万全ではないにしても対応できると思います。願わくば、ボイラー室も鉄筋ブロック造りでそのまま使えますので、小規模の浴室があればこれまでの役割が果たせるものと考えます。 大田原自然の家はこれからも子ども達の健全育成には、必要不可欠な施設であると思います。豪華で行き届いたものでなく最低限の機能と施設設備を備えて、愛する人や必要とする人々に支えられながらも存続することが求められていると確信しています。行政当局の賢明な判断をお願いいたします。
129	P38	別表1 対象施設の検証結果一覧表(大田原自然の家)	大田原自然の家 「忘れもしない3・11」「景気低迷による若者の就職難」山口県内でもリッチな周南地区にとっては他人事と 思っている人も多いと思う。 でも、産業都市と自負するこの町も、いつまでもこの状況が維持できるとは思えない。日本全体が落ち着いた成熟国になっていくと同時に、それを支えるために若い人たちは、どんどん海外に出ていって働いてもらう必要がある。かといって生活環境に恵まれすぎた今の子供たちに、「そら行け」と言うのはあまりにも酷ではないか。子供たちにある程度の不自由さを経験させ、肌で感じ取らせることは、非常に大切と思う。 先生方が不便で手間のかかる体験施設を嫌う状況の中、子供たちが厳しい生活環境の一端を経験できる施設は他には無い。今の設備で給食もでき、ローコストで運営できているようだし、建物の古さだけで判断するのはやめて、もっと知恵を出してほしい。
130	P38	別表1 対象施設の検証結果一覧表(大田原自然の家)	・大田原自然の家についての再配置計画 子供達が幼いころから何度も利用してきました。自然とのふれあい、他の学校の友達との交流と、色々な体験をさせてもらいました。現状で引き続き維持していただき、次世代の子供達にも、自然の大切さ、食育等々を身につけさせる施設として活用出来る様をお願いします。宿舎や講堂等無くなると、わんぱく村等多くの子供達とのふれ合い活動が難しくなるように思います。
131	P38	別表1 対象施設の検証結果一覧表(大田原自然の家)	先日の再配置計画に関してですが、大田原自然の家について意見させてください。 大田原自然の家は現在も年間1万人の利用があり、自然の中でのリアルな体験活動ができる数少ない場所です。今日多くの施設において色々な活動ができますが自然の家で出来る本当の生活に根付いた活動は大きな意味のあるものであると考えます。現在多くのこだわりのある活動が出来他の地区からも参加を希望し多くの方がリピーターとして再度訪れています。 再配置計画では施設については廃止、機能は維持となっておりますが今までの年月を掛けて作られてきた環境は大田原地区であるからこそ大きな成果がでるのではないかと思います。建物の老朽化は大きな問題ですので対策は必要ですが他所の様に大きな金額をかけなくても良いかもしれません。景観に沿うように簡素なイメージのものが良いような気がします。併せて大田原地区の方にとっても大きな意味のある施設ですのででなくなったとすると本当に廃村となってしまうと思います。なんとか維持継続できる案をご検討いただきたいと思います。
132	P38	別表1 対象施設の検証結果一覧表(大田原自然の家)	子どもは将来の宝、財産。その子どもを将来に向けて力強く心豊かに育てるために、自然に恵まれた里山にある大田原自然の家は大切な施設です。財政難ではあるが、実績のあるこの大田原自然の家こそ残すべき、活用し続けていくべき施設だと思います。
133	P38	別表1 対象施設の検証結果一覧表(大田原自然の家)	大田原自然の家の存続を強く希望します。 体験型施設として今までも独自の活動と運営をしてこれ、年間利用者もかなりあります。今後も様々の工夫と努力と協力とで、大田原でなければ果たせない使命を担っていただきたく思います。できるだけ協力はさせていただきます。よろしくお願いいたします。
134	P38	別表1 対象施設の検証結果一覧表(尾崎記念集会所)	尾崎記念集会所は存置していただきたい。 理由として 1、旧新南陽市民が誇りとする我国洋画界の重鎮、尾崎正章画伯から土地、建物を寄贈されたこと。 2、活動の場として利用させていただいている。 3、松田素子文庫。市民まちづくり会議も応援しつづけてもらっている。 4、地元をはじめ、市民の皆さんの憩える場として利用していただきたい。(2～3グループ)

No.	計画(案)該当箇所		市へ寄せられた意見の内容
135	P38	別表1 対象施設の検証結果一覧表(新南陽体育センター)	・新南陽体育センター廃止について 私の家族は全員バレーボールをしているため、新南陽体育センターを利用させてもらっており、現在の利用状況を見ても体育センターが利用されていない日は、ほぼないと知っております。中学校、高校、近隣の企業、地元スポーツ愛好会、スポーツ少年団と幅広い利用があります。それくらい体育センターは現地元住民のレクリエーション及び団体活動の拠点となっています。 体育センターの廃止理由が、「学び交流プラザ」に設置される体育館と機能が重複」とあります。確かに体育館としては重複していますが、学び交流プラザの体育館は2面のみでサブアリーナもなく、体育センター廃止分を満足させる増床はありません。なので、現在体育センターを利用している団体は活動する場所がなくなり、周南市の運動部の衰退につながらないとも言えません。大げさですが、練習場所がなくなると言う事は間違いなくそういう事に繋がります。 それと、今まで新南陽体育館を利用していた団体から、交流プラザとなったら体育館の利用料が高額となり、小さい団体では利用料が支払えず使用できないのではとの不安の声を多く聞きます。現在の体育センター及び新南陽体育館は1団体1時間100円の利用料と毎週使用しても、少額負担で済みます。 以上の点より、体育センター(次回大規模改修時に廃止)は、気軽に地元住民が利用できる体育施設としての存続を検討していただくよう、見直しをお願いします。
136	P38	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野庭球場)	・鹿野庭球場廃止計画反対について 私たちは30年間にわたり週2回ナイターテニスを楽しんで現在に至っております。会員数は約10名ですが、近年では周南市民テニス大会にも参加し活発に活動しています。また、鹿野スポーツ振興会ではここ5年、ジュニア、キッズ、レディーステニス教室を毎年5～7月の土曜日に開催しており盛況です。鹿野地区の人口は減少していますが、テニス人口は確実に増えている状況です。 しかしながらこの庭球場は老朽化し修理改修が必要で、5年前までは市の方に改修願いもしておりましたが近年の財政状況からでしょう改修には至っておりません。よって、私たち愛好会が、ボランティア自費にてここ数年は改修修理をしています。コート上のひび割れを補修コンクリートで埋め、ペンキ塗り、白線引き、水洗磨き等皆で努力しております。それもこれも、このコートを愛し引き続き使用したいがためです。周南市テニス場までは、距離も遠くナイターの予約もままならないでしょう。私たち鹿野地区のレクリエーションを奪わないでください。中高年の健康にも青少年の健全育成にも非常に大事なコートです。廃止ではなく改修維持していただきたく思います。 中山間地域の健康維持、レクリエーション等にご配慮くださいませ。
137	P38	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野庭球場)	再配置計画によると鹿野庭球場及びプールが廃止となっている。廃止によって、今後の使用が全くできない状態になると大きな痛手となる。利用が今後とも可能となる方策がとれないものか？さらなる検討をお願いしたい。
138	P39	別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野プール)	鹿野の市営プールが、学校(鹿野小・中)のプールが建設された後廃止ということ。 市の管理から学校の管理になるようですが、児童数・生徒数の減少から教職員の数が減っている現状で、学校に安心安全な管理は可能なのでしょうか。 また、厳しい財政下の公共事業となり、寒冷地の厳しい環境に即した工事が行われるか不安に思っております。 寒冷地特有の凍結融解、日照、塩素によるコンクリートに与える負荷を考慮に入れて、コンクリートの材質、施工方法、施工時期なども選ばれたものとなるうかと思いますが、ひび割れが生じた体育館(鹿野小屋内体育場)の前例がございます。長期維持管理の費用も必要です。 地域の実情に即したものとなりますよう、計画の公開、ヒアリング等十分に行っていただきたい。
139	P39	別表1 対象施設の検証結果一覧表(保育園)	行政のサービスは地域のすみずみまで届くようにするのが行政の役目だと思います。市民の声をしっかりと聞いて下さい。子供の成長の一番大切な時期(保育園)の民間譲渡はとても不安です。
140	P39～40	別表1 対象施設の検証結果一覧表(こども関連施設)	・子どもたちに関係する施設の廃止、統合、民営化が多いと思います。市の財政が厳しいのは分かりますが、これからの未来をになう子ども達のを切り捨てることは未来をつぶすことになり、周南市の未来はありません。若い人達が周南市に移り住もうと思えなくなります。 ・この計画を知らない人がたくさんいます。広報でパブリックコメントを取るなら、内容を広報に提示して、パブリックコメントを取るべきだと思います。学び交流プラザの時と同じことを繰り返さないでください。 ・再配置計画になっている施設に1つ1つ出向いて、そこを利用している住民へきちんと説明し、顔の見える話し合いを持ってほしいです。市長の言われるもやいの町づくりを期待しています。

No.	計画(案)該当箇所	市へ寄せられた意見の内容
141	P41 別表1 対象施設の検証結果一覧表(軽費老人ホームきずな苑)	・軽費老人ホームきずな苑について 「建物＝民間譲渡」「機能＝存続(機能は民間で実施)」とありますが、「建物＝廃止」「機能＝廃止」とすべきと考えます。理由は以下のとおりです。 厚労省は、「平成20年5月30日 老発0530002 軽費老人ホームの設備及び運営に関する基準について」において、次のように通知しています。 「これまで………軽費老人ホームA型、軽費老人ホームB型及びケアハウスの三類型が規定されたところであるが、今後はケアハウスに一元化していく観点から、旧通知におけるケアハウスに係る規定を基準の本則として定め、軽費老人ホームA型及び軽費老人ホームB型に係る規定に関しては、現に存する施設のみに適用するものとして、附則において規定を置くこととした。(抜粋)」 つまり、軽費老人ホームきずな苑は、民間移譲による存続は困難ということです。 このことは、施設運営費の仕組みからも伺うことができます。 施設運営費のうち事務費(職員の人件費及び管理費等)は国基準により、入居者負担(応能負担)を除く費用について、市設置の施設は国・県・市の三者が負担しますが、民間設置の施設は国と県の二者で負担することになっています。仮に民間移譲が認められるとした場合、市負担分(きずな苑の場合2,300万円弱)を国と県が負担することができるか、上述の厚労省通知からも、国・県の負担増は困難と考えるべきです。 次に続く
	P41 別表1 対象施設の検証結果一覧表(軽費老人ホームきずな苑)	上段に続く また、きずな苑は「建物＝廃止」「機能＝廃止」に変更すべきと指摘させていただきますが、「廃止」に当たっては、次の二つの条件を検討すべきだと思います。 一つは、「一定の期間を設けて入居者の他施設入所等の新たな居所確保後の廃止」です。 一つは、「きずな苑入居者の新たな受け皿としてのケアハウス整備後の廃止」です。 前者は、現施設の老朽化進行に反して、新たな居所確保にかなりの期間、困難さを有することが危惧されます。後者は、周南市としてはきずな苑入居者の受け皿となる民間法人による新たなケアハウス整備を想定されるところですが、施設整備(用地を含む)に対する整備補助金等の支援を含めて検討するべきと考えます。高齢社会の進行が顕著な中、後者の先進例としては、最近では萩市において、市有地提供及び財政支援による福祉施設の整備が行われていますので、参考になるかと思えます。 また、きずな苑の建物そのものについては、老朽化はもちろんですが、現施設を他施設へ転用することは困難と考える方が現実的だと思います。それに、隣接の徳山社会福祉センター(建物「存続」・機能「存続」)は、多くの福祉団体や関係者が利用されていますが、ご承知のように現施設及び駐車場が狭隘なため、いずれ改善をという課題があります。 いずれにせよ、軽費老人ホームきずな苑の再配置計画(案)については、50名にも及ぶ入居者の新たな居所の確保が優先し、それが周南市に課せられますので、実効ある方向性について再検討をお願いします。
142	P42 別表1 対象施設の検証結果一覧表(湯野荘)	湯野荘の「民間譲渡・廃止」という方向性を再度検討していただきたいと思います。本館施設の老朽化は致し方ありませんが、現在も入浴利用者が夏期は1日当り170人以上、冬期も200人以上、最も多い1月は300人以上の市民が利用していただいています。ご利用される方々の多くは健康増進あるいは「湯治」を目的にされるご年配の市民です。先進医療に頼るより身体を温めて自分で治す「湯治」が見直されてきている時代です。午前、日中、夕方とまんべんなく利用者がお越しになります。中には鹿野からバスを乗り継いで毎日お越しになるおばあちゃんもいらっしゃいます。安価で湯と親しめる施設として、ずっと愛されてきた施設でございます。ぜひとも「存続」させて欲しいと思います。
143	P42 別表1 対象施設の検証結果一覧表(湯野荘)	家族みんなで国民宿舎湯野荘を利用しています。特に風呂がお気に入りです。部屋も借りれるので(昼間)いろいろ使えて便利です。
144	P42 別表1 対象施設の検証結果一覧表(湯野荘)	「湯野荘」をなくさないでください。 毎週子供と行き、子供は大きなお風呂を楽しみ、大人はリフレッシュしています。 従業員さんも優しく親切で顔なじみになるくらいです。 子供の楽しみを奪わないでください。
145	P42 別表1 対象施設の検証結果一覧表(湯野荘)	国民宿舎湯野荘について 1 建物の中で宿泊設備等耐用年数を相当経過し、耐震度は少ない 2 上記建物補修維持管理増大 3 入浴設備は良いが常連客多く、午前の会議室利用低い 4 採算性(特に精査すると)大きく赤字 上記等により売却等処分すべきと考える
146	P42 別表1 対象施設の検証結果一覧表(湯野荘)	国民宿舎湯野荘の民間譲渡とありますが、これまで湯野荘は国民宿舎として湯野温泉郷の中心となり、地域の活性化と市民の憩いの場として住民サービスに貢献してきましたが、公的関与がなくなれば、地域全体が衰退していく恐れがあります。そのために、民間の力だけではなく、行政による公的関与が不可欠であり、周南市が支えていくべきです。

No.	計画(案)該当箇所		市へ寄せられた意見の内容
147	P35～	別表1 対象施設の検証結果一覧表(支所、市民交流施設、新南陽民族資料展示室、診療所、八代小学校)	・事務庁舎について 「E判定」とされた「支所」は「出張所」への降格が適切であると考えます。 ・交流施設について 「E判定」の施設は、地元自治会等を指定管理者としてもよいのでは？(「C判定」(地域譲渡)の可能性は？) ・「新南陽民俗資料展示室」は「学び交流プラザ」のしかるべき場所で収蔵物を展示すべきだと考えます。 ・「八代小」は、引き続き存置されるべきと考えます。(高水小への統廃合のスクールバスの安全輸送不安があるため) ・「山間部の巡回診療」は、鹿野国保診療所への送迎バスなどが必要でしょう。あるいは、移動診療車を導入すべきと考えます。
148	P33	・その他全般に関すること ・VI. 再配置計画の進め方(3)財源対策と財政計画との連動	1. 「公共施設の総量抑制」は、大原則です。この大原則から来る「数値指標」を市民に示してください。施設マネジメントを導入し、わかりやすい数値指標(例: 減価償却費+管理運営経費)をお願いします。 2. 今回、周南市全体の観点から「対象施設の総合評価」が発表されました。これは、非常に重たいものと思います。安易に復活要求(廃止→存続)に応じないように市トップと当局をお願いします。一部、修正を認めるとあと收拾がつかなくなりますから、不退転の決意で進めてください。修正がもしあるとすれば、「事情変更の原則」に該当し、市民の大多数が納得する場合のみです。 3. 「廃止」施設は早急に解体し、更地は売却原則で解体費を回収してください。「廃止」施設が放置されたまま残っていると、周辺地域に悪影響を及ぼします。
149		その他全般に関すること	・周南市公共施設再配置計画「案」について 今回進められている周南市公共施設再配置計画(案)については、施設の老朽化やコスト削減の他、合併をする時の経緯、地域性を十分考え実施されたい。特に、施設の廃止、統合については、その地域に出向き住民の意見、要望を聞き実施されたい。
150		その他全般に関すること	将来を見越しての政策と思うが、公共施設を廃止・休止する事により住みにくい市になると思う。その結果周南市の人口・税収が減少したら意味がない。無駄をなくして経費削減を進めてから公共施設再配置の計画を慎重に考えて頂きたい。
151		その他全般に関すること	建物の廃止という「ハード面」が先行して住民サービス「ソフト面」がどこまで存続出来るのかが不安です！
152		その他全般に関すること	遠くなって不便
153		その他全般に関すること	遠くなって不便である。
154		その他全般に関すること	距離が遠くなって自動車が無く自転車等で行くのに不便になるから反対である。
155		その他全般に関すること	合併していいことはありません。水道料が上がるし、周辺部の切り捨てなのではないでしょうか。反対です。
156		その他全般に関すること	平成24年12月議会で、多くの議員が周南市公共施設再配置計画(案)について質問していた。これはこの計画が大変関心を持って見られている。言い換えれば市民の関心も強いということ。その中で注目すべき点として「周南市公共施設再配置計画(案)が解りづらい」、「難題を個別計画策定に先送りした」という2点を上げることができる。 1. 計画(案)が解りづらい(全般) 議員の発言として、パブリックコメント、各支所等への周南市公共施設再配置(案)の配布等周知のための措置が取られたが「解りづらい」との意見が多かった。12月市議会でも、パブリックコメントは求めているものの量的なもの(ページ数多い)理解困難などが指摘され、市民の理解を得た計画とするには時期尚早という意見が多くみられた。 (細部事項) ①建物と施設の使い分けがはっきりしない。 該当箇所 ・「(2)④総合評価による施設の方向性の再検証」(P17) 総合評価では、建物と機能から点検するとしているが、施設の将来の方向性は建物評価の区分原理を採用している。 ・「(2)④及び(3)総合的な検証結果の考え方と再配置計画の策定」(P17) A～Eのことを(2)④では「施設の将来の方向性」と述べ、(3)では「評価は建物の方向性を示す」としている。ここでも施設と建物の概念が錯綜している印象を受ける。 ②区分原理の曖昧さ 周南市公共施設再配置計画(案)挟み込み資料「別表1対象施設の検証結果一覧表」の見方(本編P35～)の表題自体を次のように記述すべき。「別表1対象施設の検証結果一覧表(本編P35～)」の見方 このガイドブック的なもの自体にも次に述べるように解りづらい点がある。 【総合評価の説明】の中の機能の欄は次のように表現されている。 次に続く

No.	計画(案)該当箇所		市へ寄せられた意見の内容
		その他全般に関すること	上段に続く 存続・・・提供されているサービスを存続すること。以下のケースがあります。 ・現在の施設でサービスを継続実施・他施設(新設含む)でサービスを実施 ・民間施設でサービスを継続実施・別の手法でサービスを実施 転用・・・サービス内容の見直しを行うこと。以下のケースがあります。 ・現在の施設で提供しているサービス内容の見直し。 ・現在の施設を廃止し、他施設(新設含む)でサービスを提供することとするが、提供するサービスは見直し。 以上の説明では市民には解りづらい。解りやすくするための1案次の通り。 まずは、大きくは次のように2つに区分する。 存続・・・その施設でのサービスを存続すること(廃止の項と平仄を合わせる意味からも) 廃止・・・その施設でのサービスを廃止すること。 ・他施設(新設含む)でサービスを継続実施 ・民間施設でサービスを継続実施 ・別の手法でサービスを実施 ・絶対廃止 次に続く
		その他全般に関すること	上段に続く ③内部検証の結果も建物の区分で処理してあるが、建物・機能の両方の要素を含めて表現すべきである(案の内容に沿って転用(サービス内容)項目として上げるケースにおいても)。 ④将来の個別計画等の策定等のため、区分を数字化しておくとの情報のやり取りや議論等で効率化が図れる。 2. 難題を個別計画策定に先送りした 鹿野の総合支所等の廃止に関する質問への回答に見られるように、他のものについても個別計画策定時に再度検討するとの表現が多かった。議員もその議会の中継を見た市民も、現在の案が25年3月にできたとしても具体的には各所掌ごとに作成される個別計画作成時に方針的な事項までひっくり返ることもあるという風な受け取り方をしたのではないかとと思われる。言い換えれば答えの難しいものを、「個別計画」で逃げた感じがした。今後市民への説明会も開催されると思われるが沿った個別計画となっていくかが懸念される。
157		その他全般に関すること	人口の減少で大変な時期を迎える事になり、乗り越えて生きる事しかないと思います。助け合いの精神で戦時中に比べると上等だと、よい方に物事を進め考えています。時代の流れには対応して、向き合って生きて行く考えです。 今後共よろしく願い致します。
158		その他全般に関すること	計画は反対ですが、しなければならない場合、計画を実行に移す前に住民の意見を聞いて欲しい。取りあげられる意見は取りあげて欲しい。早目早目にそういう機会を度々もって下さい。地域審議会で申し出てそういう場を作ってもらってますが、一般住民へと、そして何回も。
159		その他全般に関すること	格別困ることはないと思います。
160		その他全般に関すること	反対
161		その他全般に関すること	周南市の予算の使い方についていろいろ聞いているが、もっと有効な使い方は出来ないのか？駅前開発や市役所の建替えなどばかりに予算を使い中心部以外においては全て切り捨てにするのか？高齢化、過疎化に拍車をかけるこの計画案には断固反対したい。
162		その他全般に関すること	周南市公共施設再配置計画(案)は廃止すべきと考えます。行政改革審議会の意見聴取と、計画(案)の基礎となる「シセツ・カルテ」のみの判断では市民の声とは全く異なった結論になるのではないのでしょうか。再配置計画(案)をなし崩し的に推し進めるのでは、あまりにも強引すぎると思います。早急に計画(案)の白紙撤回を求めます。
163		その他全般に関すること	特別ありません

No.	計画(案)該当箇所	市へ寄せられた意見の内容
164	その他全般に関すること	平成16年策定のまちづくり総合計画や平成22年度からの後期基本計画で示された、いのち育む里づくりの振興策と再配置計画との整合性はどうか。鹿野の人口は合併後減少が続けているが農林業、商工業で生活をしている住民も多く高齢化もしており生活環境は大切である。そのためには、福祉や防災、教育文化、自然や景観の保全等多岐にわたっている。人口の大小ではない。今回の策定は鹿野にとって非常に深刻な問題点が多く一部の団体長にだけでなく全所帯に周知徹底して意見を求めるべきである。苦労して合併してから10年、まずはその間の検証報告が大事ではないか。
165	その他全般に関すること	私たちは、昨年から鹿野地域の特性を活かした地域づくりはできないだろうかと考え、「とことん田舎」をコンセプトに鹿野ならではの持続可能な地域づくり＝鹿野にあるもの(地域資源)を活かした鹿野ならではの観光開発を目的にし、鹿野の交流人口を増やしていこうとして、活動をしています。まだまだ実績としては大きく表れてはいませんが、少しずつ情報発信がされ、交流人口が増えてきているように感じています。次には、鹿野に來られた方に心の休まる空間を提供でき、癒しの場として喜んでいただける地域にしていこう、地域の人達と協力し合い頑張っていこうと思っております。 このような状況の中また他地域でもそれぞれの地域をどう活かしていこうか、自らを元気づけ、他の人々に来て喜んでいただける地域にしよう頑張っておられる地域も出ている時に、今回の再配置計画(案)によって大きな影響を受けるところ、また、活動をしている方々の気持ちが、しぼんでしまうようなことは決してあってはいけないことではないかと思えます。 私の願いとしては、このような地域住民にとって重要なことは、もっと時間をかけ言葉で説明し、また合併10年を経過する周南市をこれから先どのような市にしていきたいのかを示していただき、再配置計画に取り組んでいただきたいと思えます。
166	その他全般に関すること	標記(案)について (理解・納得・評価する点) ・老朽化、非耐震化の施設を解消し、現存施設に機能を統合していく点(保有総量抑制、機能重視) ・上記対応により、施設(箱物)の改修、建替え、今後の維持の費用を軽減する点 ・災害対策拠点及び避難所機能の強化の優先 (不明、不明確、評価できぬ点) ・(案)の中の一部が、既に決定事項と思われる点 (直近の市長発言、議会等の新聞報道による) →上記が事実であれば(案)とは言えず、「市民の意見を聞く(その後決定する)」という”パブリックコメント”の体裁も成していないことになる。 ・当(案)の提示、パブリックコメントの実施前に、一施設(本庁舎)について全市民アンケートを実施した点 →本来なら、本庁舎も他施設との関係を明確にした上で、今後のあり方を市民に確認すべきものを、先に本庁舎についてのみアンケートを実施してしまったのでは、その結果と今回のパブリックコメントの整合性が取れなくなる。 →一部決定事項と思われる点が、他種数の施設にも影響している点 →「統合」の名の元、他の施設と関係している計画なのに、一方が決定となれば、もう一方も一部決定となり、今後の個別計画も硬直してしまう。 次に続く
	その他全般に関すること	上段続き ・別表1に示す「統合」の条件が不明慮 →「地域性の高い行政機能を」という条件を付けての統合(案)では、統合の際、施設の負荷(面積人員)がどうなるのか不明となり、個別計画も立て難くなる。 移動の手段に乏しいものにとっては、現状機能全てが「地域性が高い」ことになるが、その点をどう考えるか。 ・別表1に示す条件が不明瞭(読み取りにくい)(以下・例) 建物:廃止であれば、その地点における機能も「廃止」の上で別施設で結果的に機能が付加されるはずなのに、建物:廃止、機能:転用という表現で、誤解を与えかねない。 機能の「転用」の表現が広範囲で使用され、誤解を助長している。 建物:地域譲渡、機能:廃止、地域で管理運営という表記も、恐らくは「行政機能の廃止」を言っていると思うが分かりにくい。 ・「距離」を示す記載に欠ける。 施設の廃止、統合を言う場合、各施設の「距離」も重要な指標のはずだが、その点、資料を見てもほとんどわからない。 ・パブリックコメントの時期 5週間と、通常よりも長めになっているものの、12月の年の瀬、期間の半分は「無かったもの」と言わざるを得ない。 他、詳細部分については、今後の「個別計画」にて対応すべきと考えます。 私見勝手、申し訳ございません。 ご対応よろしくお願いいたします。
167	その他全般に関すること	・本当に周南市の将来性を考慮されているか? ・何時から、どこからこのような計画が出来たか、市民に納得の説明が欲しい。 ・財政のみを考えるトップの姿勢が、地域の発展、後退につながる。(特に、過疎地域、高齢化) ・鹿野総合支所、鹿野公民館等鹿野の歴史が壊れてしまうのが情けない。

No.	計画(案)該当箇所		市へ寄せられた意見の内容
168		その他全般に関すること	本計画に反対致します
169		その他全般に関すること	高齢化、過疎化が進んできている鹿野こそ、地域のニーズにあった公共の支援が必要である。これ以上不便になったら人間としての最低限の生活もできなくなるし、ますます人が住みづらい地区になってしまう。今まで必要で設置された施設を無駄という理由で無くするのは大反対です。人が生きていく上で無駄をなくするのはどうかと思います。
170		その他全般に関すること	反対です
171		その他全般に関すること	色々あると思いますが、小さくなることはあまりいい事ではなく、末広がりがいいと思います。もう少し考えてみる必要があると思います。
172		その他全般に関すること	山口銀行の存続を希望します。業務進行に差し障るから、農協や局は存続しますが、銀行と取引している個人・事業所は、今後、仕事に影響されることは必然です。銀行との取引等で時間ロスがかかり、労務ロスをつくることはやめて欲しいと思います。
173		その他全般に関すること	同じ建物にある銀行はどうなるのでしょうか？ 銀行がなくなる様、検討してください。 市民全員が困る事になると思います。
174		その他全般に関すること	合併前の鹿野は田舎ながら、便利のいい町でした。高齢化も急速に進み、私達団塊の世代も残り少なくなって、若者に色々な事を頼んで行くのに若者がいない…。公共施設をしっかりと見直して。なんでもこわすのは反対です。 忘れられた鹿野を実感します。若者が帰って来る町、若者が住みたくなる町を望みます。
175		その他全般に関すること	子供達が仕事の都合で遠くにいるお年寄りの人、子育てに一生懸命で共働きをしている夫婦、小さいながら頑張っている商工業の人達、皆大変な思いをして税金を納め、少しでもよい行政であって欲しいと思っています。 94億円かけて新庁舎を建設するより、今、必要がなくなった建物(近鉄松下など)を再利用できる方法を考えて欲しい。その予算で廻りの地域の人達に温かい手を差し伸べて欲しいと思います。
176		その他全般に関すること	案に対する問いがないので答える事が出来ません。 各地域で良く話し合いをされると良いと思います。
177		その他全般に関すること	周南市公共施設再配置計画(案)には大反対です。 もう少し地域住民の話を良く聞き、地域性を良く理解した上で、計画をたてて下さい。 私の住む鹿野は、住民みんなが手をつなぎ自分達で出来ることは自分達です。本会では、24年度の計画に後継者が帰りたく村づくりを目標に掲げ、明るく住み良い地域になるよう、みんなで頑張っているところです。 高齢化は進んでいます。でも努力し若い人が住みたくなる地域にしようと頑張っています。工房も作り地域での仕事場も作りました。 中山間には田舎の解かる職員を配置して下さい。
178		その他全般に関すること	高齢化していく周辺の人々の事を考えて公共施設の切り捨てはしないで下さい。 それだけでなく集まり等は、中心部への呼びかけなどが次第に多くなり遠方の者は出かけるのが大変、金や時間、足も皆困るのは目に見えています。十分考えた上でお願いします。
179		その他全般に関すること	当計画案は今後、中山間地域の活性化に支障にならないよう望みます。
180		その他全般に関すること	今の世の中、日々の生活に追われ人の事など構ってられない、寂しい世の中になってきました。若い世代は大変だと思います。人は一極集中、都会へと流れ、山口県など中国地方は人口が減り、税収不足、改革は待ったなし。「公共施設再配置計画」反対とはいえません。弱者負担の少ないように進めていただければと思います。

No.	計画(案)該当箇所	市へ寄せられた意見の内容
1	P20 P24 ・Ⅲ. 6. (5)再配置計画基本方針 ③受益者負担の適正化 ・Ⅴ.利用形態別方針3. 教育文化施設(1)図書館	P20にある「受益者負担の適正化」を行うためには、社会教育法における公民館としての使用ならばこの料金、実際の使われ方がコミュニティ活動ということであればこの料金などと整理する必要がある。「受益者負担の適正化」は、論点を整理しないと文章だけに終わってしまう。 P24の図書館の説明に「効率化の観点から運営方法を検討」とあるが、人件費が安いから民間に委託する性質のものではない。図書館は正職員が少ないので人件費が下がっており、効率化の観点からという言葉はほとんど意味がない。
2	P23 P28 ・Ⅴ.利用形態別方針2. 市民交流施設(2)隣保館 ・Ⅴ.利用形態別方針7. 保健衛生施設(2)市民病院	隣保館は国の補助は残っているが、集会所としての利用とした方がいい面もあるのでは。 医師確保はどの病院も厳しいと聞く。民間病院でも金銭面や大学とのコネクションがないと医師がこないという状況の中で、公立病院としての限界もあるのではないかと。地域へのもっといい医療、その目的を達するためには、中央病院との合併など大きな組織改革も必要なのではないか。
3	P22 P35 ・Ⅴ.利用形態別方針1.事務庁舎(1)庁舎等 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表(鹿野総合支所)	新聞で鹿野総合支所廃止と大きく出たので地域住民は不安になっている。建物が古いこと、改修することに変なお金がかかることは分かるが、その事情を踏まえた上で、総合支所の機能の縮小はどうしても受け入れがたい。 駅もない遠いところにある、積雪、人口減少等で行政との協働が今必要だという現実をよく分かっていたら、総合支所を支所に縮小するという方向性ではなく、機能の維持に関して中山間地域に特別な配慮をいただきたい。
4	P17 P18 ・Ⅲ. 4. (3) ③「C」:地域譲渡 ・Ⅲ. 5. (1)内部検証の結果	「地域譲渡」や「地域」の計画上での定義が必要ではないか。 廃止の対象が65箇所とはっきり言ってしまっているのか。
5	P35～ 別表1 対象施設の検証結果一覧表	計画案を手にして最初に目が行くのは「別表1」と思う。廃止か存続か、そして、廃止が身近な施設であれば、これは大変だという流れになるのではないかと。廃止が一番気になるので、誤解の生じないようにしていただきたい。 次に母校がなくなるのではないかと学校が気になると思う。機能の説明に「当面存続とするが地元コンセンサスが得られれば統合」とあるが、この表現が適正か。コンセンサスが得られなければ統合しないということになる。
6	P17 P35～ ・Ⅲ. 4. (3)総合的な検証結果の考え方と再配置計画の策定 ・別表1 対象施設の検証結果一覧表	総合評価では建物があつて機能となっているのを逆にして、機能が必要かどうかがあつたうえで、建物が今どういう状況なのかという順にする。これを踏まえ、考えられる対応案という流れで記述してみてもどうか。 P17の総合評価では、「建物の方向性」について、A～Eで示すとされているが、その説明には、「機能」という言葉がたくさん出てくる。あくまでも「建物の方向性」がA～Eで、機能はまた別の流れがあると整理されるのではないかと。建物も機能も検証した上で、A～Eになっていると誤解を招きかねないので、書き方見せ方の問題であるが、論理の整理が必要ではないか。
7	P6 Ⅱ. 2. (2)多くの施設で大規模改修時期が到来	お金がないという話をするときに、インフラは、公民館の使用料を上げるとかいうのとは桁違いの膨大なお金が必要。そこを市民によく伝えて、これから自分たちの地域の上下水道や橋を守るためには莫大なお金がいることを納得してもらわないといけない。